



多摩市 気候市民会議

第1回 キックオフ

2023年 5月 13日(土)

13:30~17:15 @多摩市役所



はじめに

- 注意事項
- 非常口の確認
- 記録撮影の承諾
- 欠席時の連絡等



オリエン テーション

多摩市気候市民会議の目的

1. 多摩市が脱炭素社会に向かうために、 様々な主体がすべきことを考える

この気候危機を私たち一人ひとりが当事者として捉え、「何をすべきか」、「何ができるか」そして「地域としてできること」、「行政や民間事業者がすべきこと」などについて話し合う。



2. 多摩市気候市民会議の提案をまとめる

脱炭素に向けた取組の提案を考える。

成果の活かし方

ご提案いただいた内容は、
「次期多摩市みどりと環境基本計画」の
具体の取組に反映していく予定です。

講義③で
ご説明
します

「多摩市みどりと環境基本計画」とは？

本計画は、第五次多摩市総合計画で掲げる目指すまちの姿のひとつである「人、自然、地球 みんなで環境を大切にするまち」の実現に向けて、みどり分野と環境分野が密接な関係にあることから、両分野の総合的な計画として策定するものです。

全5回の進め方

本日

5/13

第1回：キックオフ

気候変動対策が進んだ先の、多摩市を考えよう

目指したい姿

5/27

第2回

脱炭素に向けて 生活編

身近な生活の中でできる、
取組や工夫を考えよう

6/17

第3回

脱炭素に向けて 社会編

脱炭素に向けて、
まちに必要な
機能やしくみを考えよう

具体策

投票

7/8

第4回

脱炭素に向けた取組

市民・行政・企業が協働でできることを考えよう

しゅくみ・体制
・広げかた

とりまとめ

7/29

第5回：まとめ・振り返り

とりまとめを確認しよう・気候市民会議を振り返ろう

第1回

気候変動の状況を知り、
気候変動対策が
進んだ先の、
多摩市を考えよう

本日の進め方

- ・ 開会挨拶
- ・ オリエンテーション (5分)
- ・ **情報共有** (120分)
 - ・ 講演① 「気候変動問題の全体像」 江守正多 先生
 - ・ 講演② 「カーボンフットプリントと行動変容」 棚橋乾 先生
 - ・ 講演③ 「次期多摩市みどりと環境基本計画」策定の進捗状況と若者たちの意見 山下紀明 先生
- ・ **グループ別意見交換** (60分)
気候変動対策が進んだ先の、多摩市を考えよう
- ・ 全体共有 (20分)
- ・ 本日の総評 (10分)
- ・ 次回のご案内 (10分)・閉会

講演①

気候変動問題の 全体像

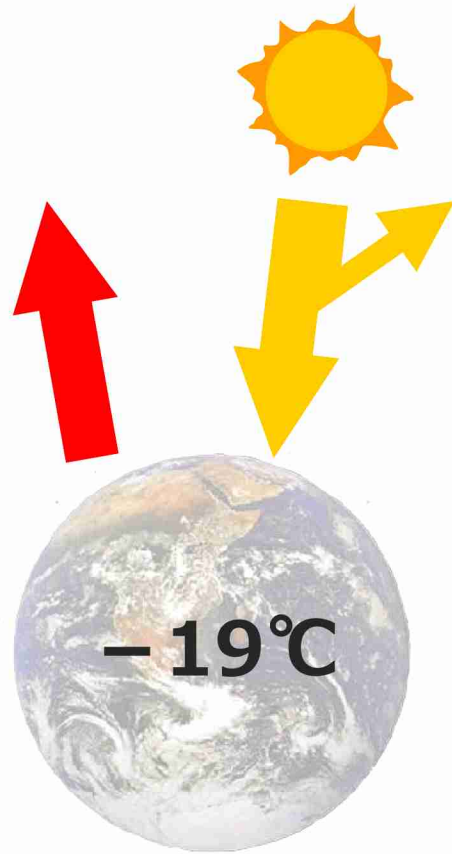
江守正多 先生

東京大学未来ビジョン研究センター教授
国立環境研究所上級主席研究員

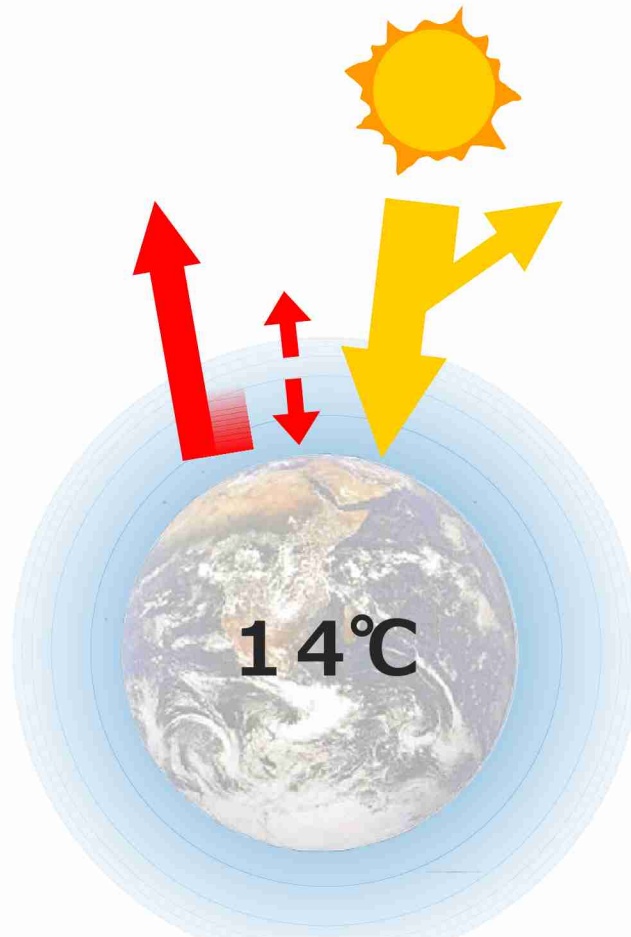
気候変動問題の全体像

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員
江守 正多

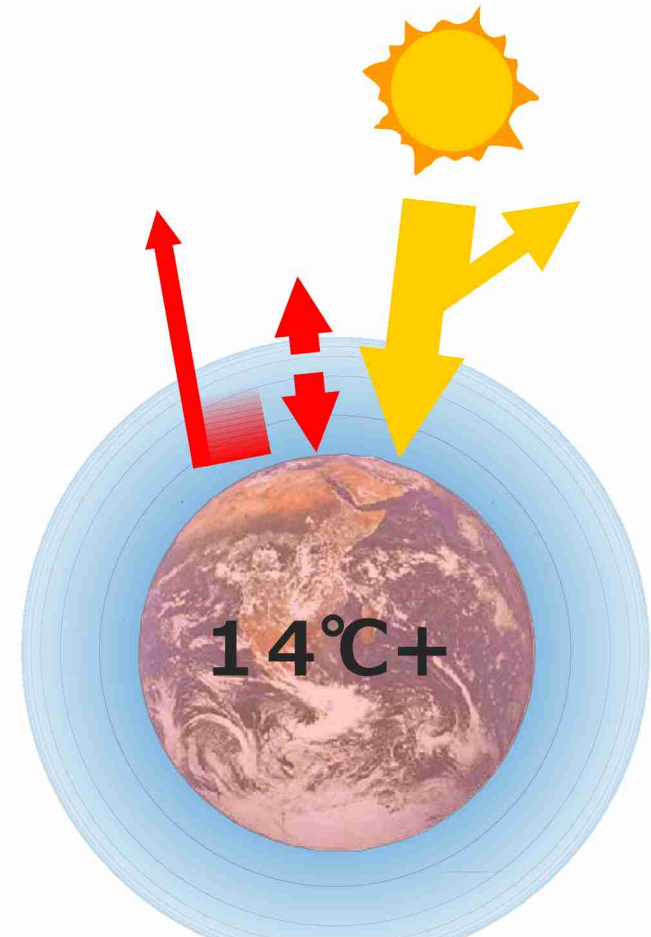
地球温暖化のしくみ



1. 温室効果が
無かったら...

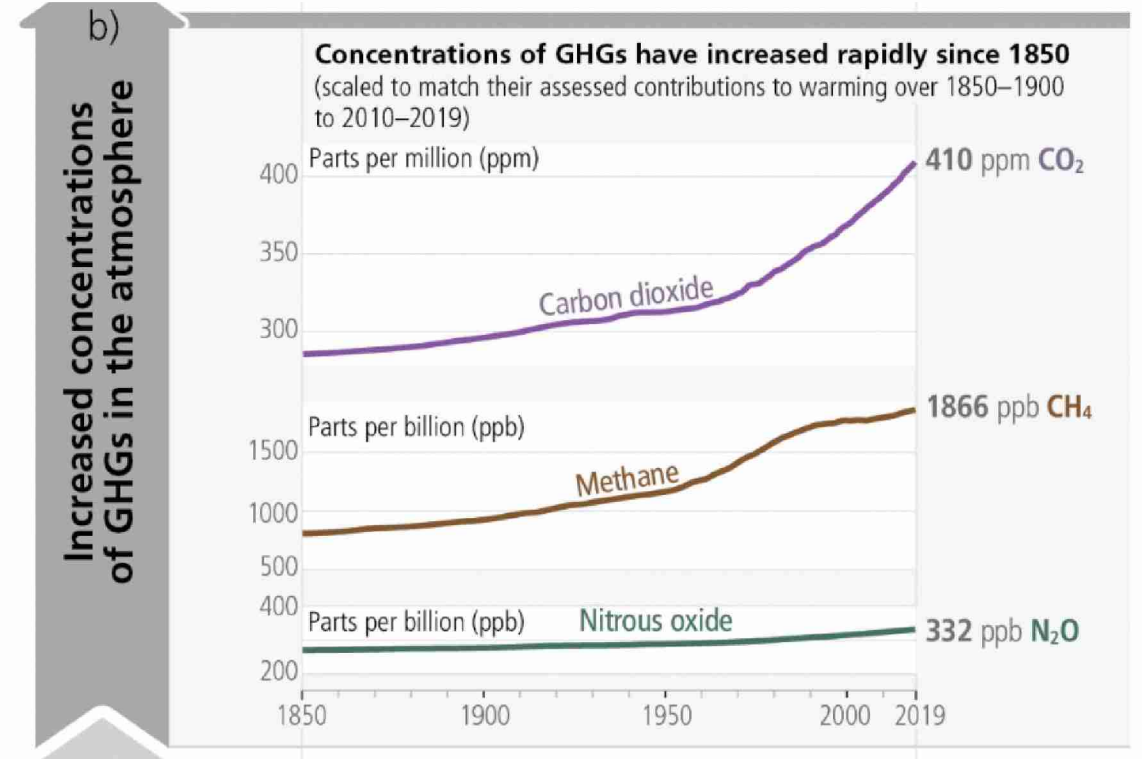
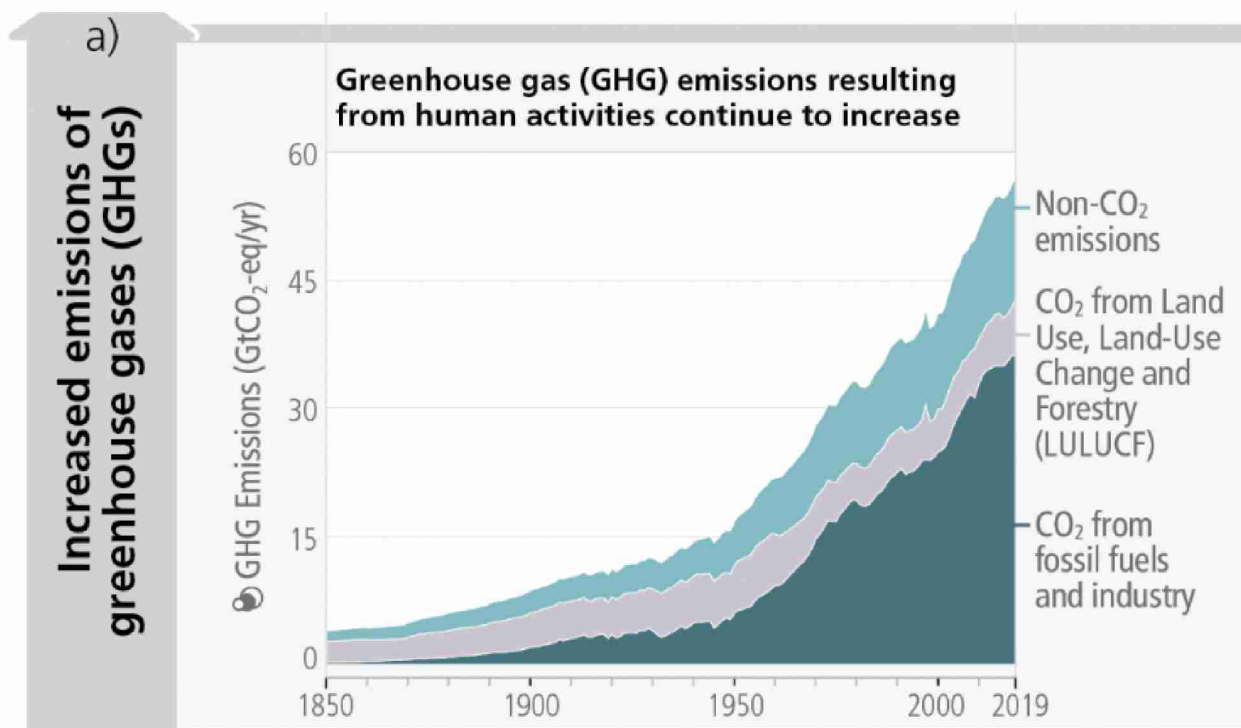


2. 温室効果が
あるので...



3. 温室効果が
強まると...

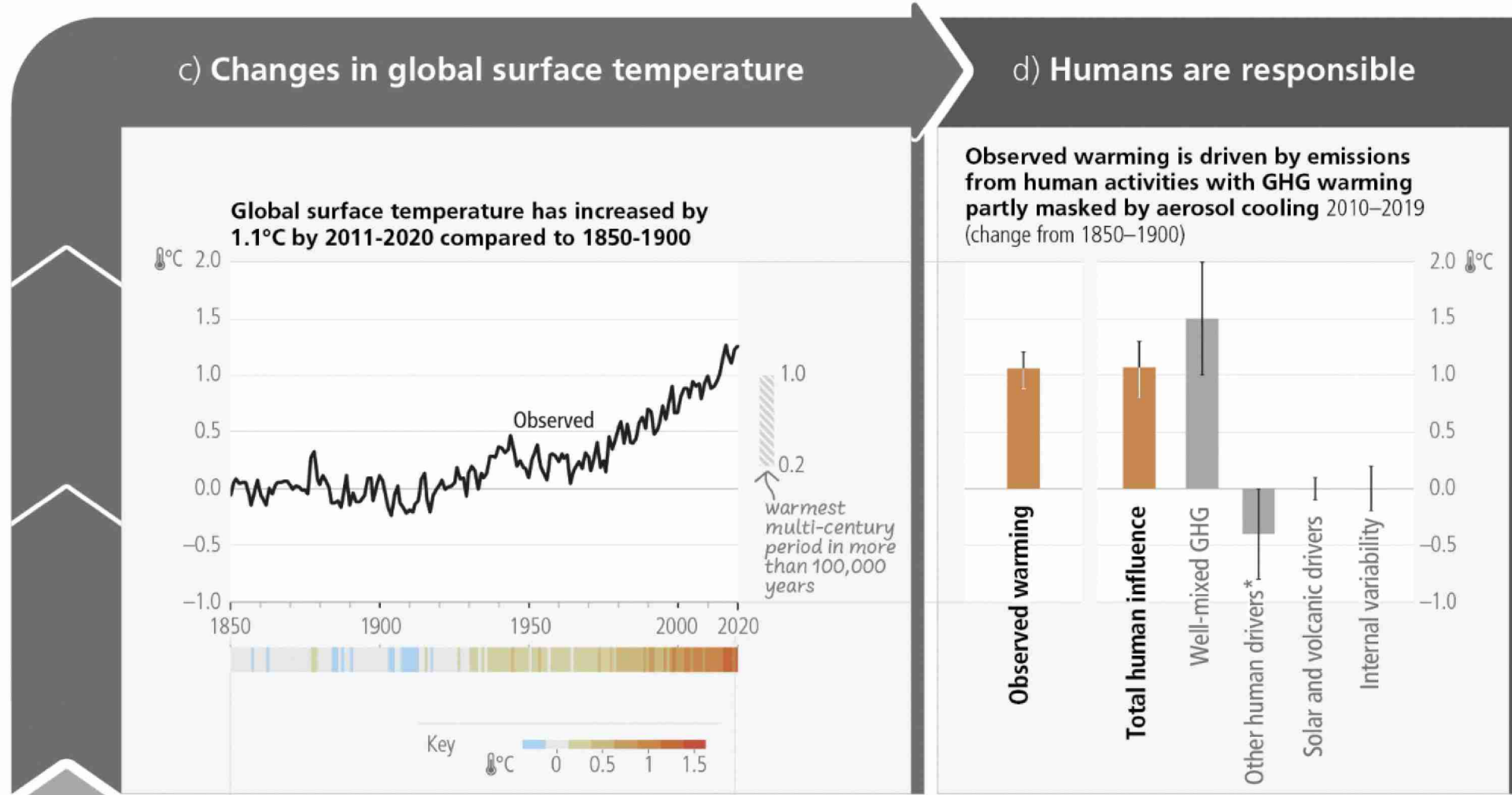
増加を続ける温室効果ガスの排出量と大気中濃度



(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.1a,b)

人間の影響によりすでに $\sim 1.1^{\circ}\text{C}$ の地球温暖化

Human activities are responsible for global warming



(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.1c,d)

国連 パリ協定 (2015採択)

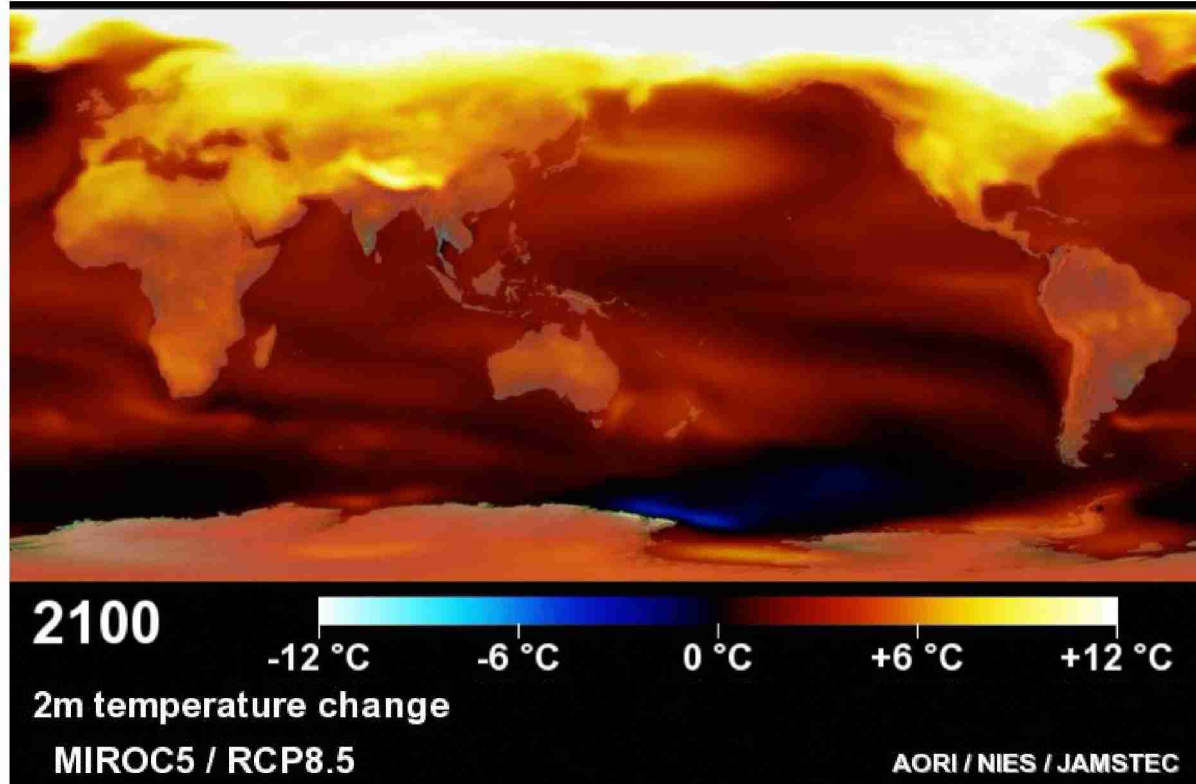
「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて**2℃**より 十分低く保つとともに、**1.5℃**に抑える努力を追求する」

「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成する」

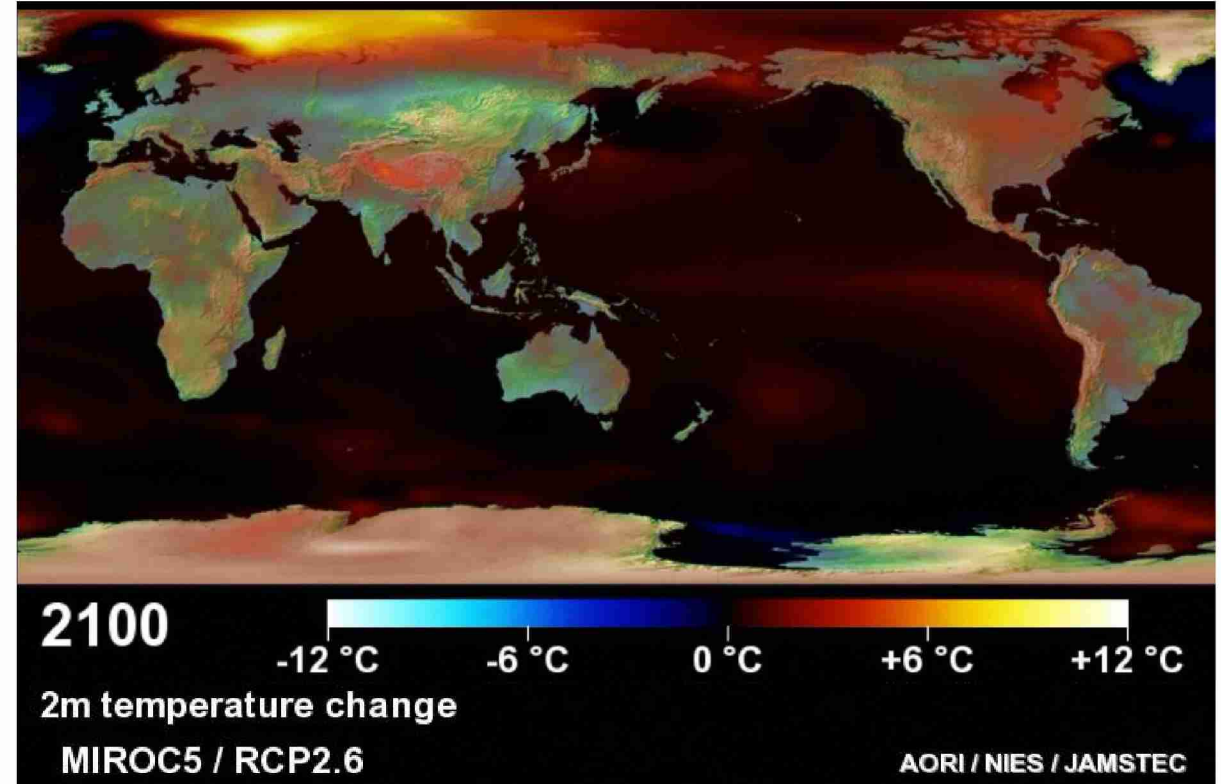


©UNFCCC

気温変化シミュレーション

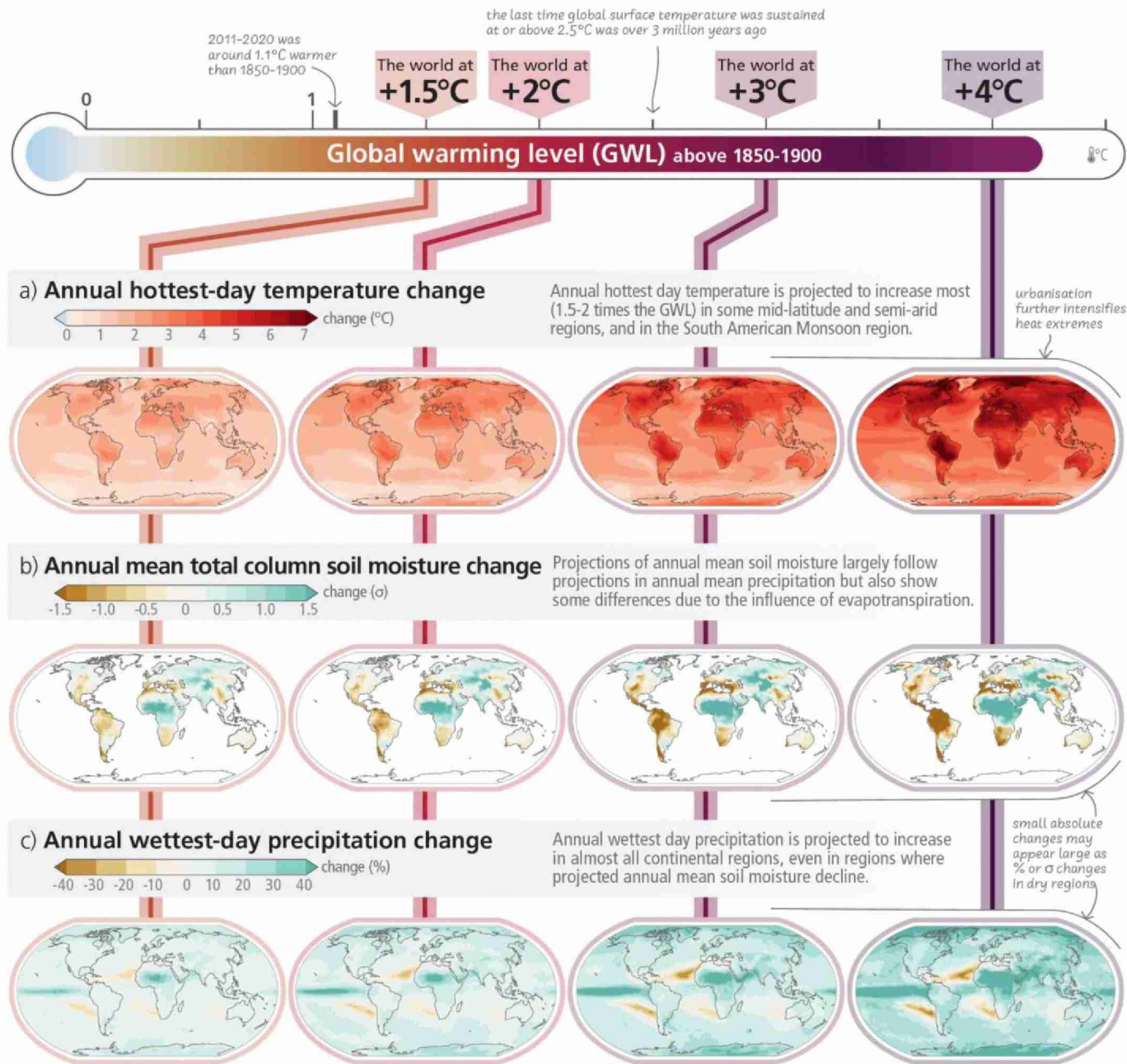


「非常に高い」シナリオ相当
(対策無し、化石燃料依存)



「低い」シナリオ相当
(~+2°C安定化)

MIROC5気候モデルによる (AORI/NIES/JAMSTEC/MEXT)



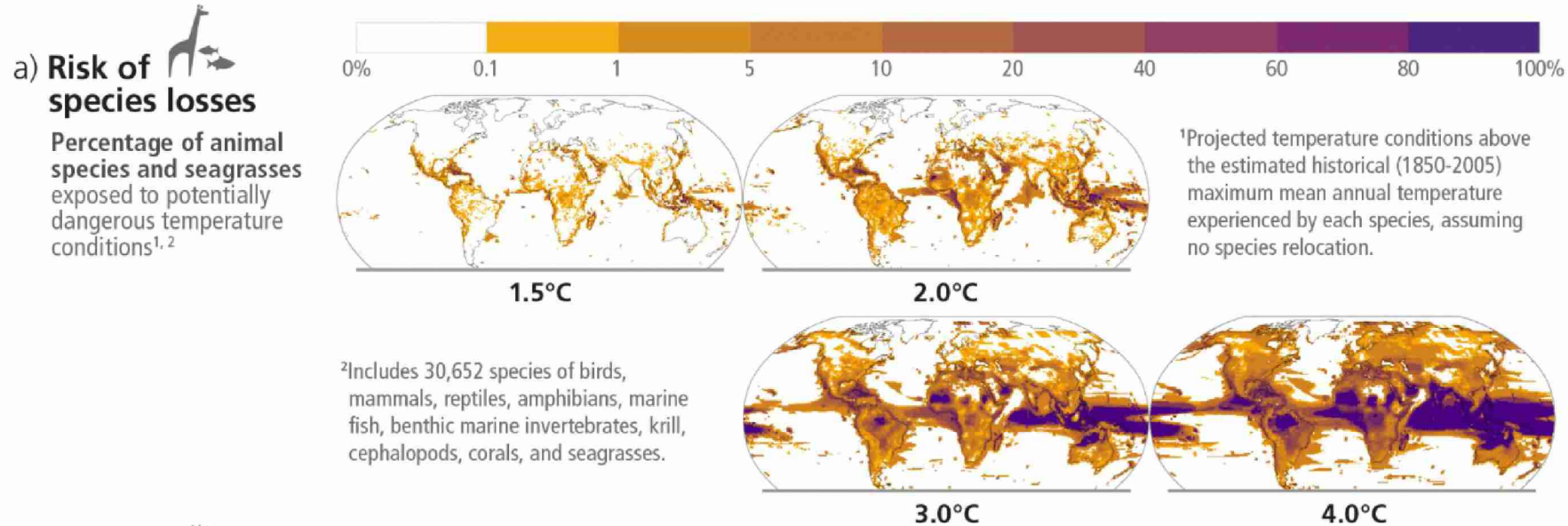
温暖化が進むごとに 極端現象が増加する

年最高気温の変化

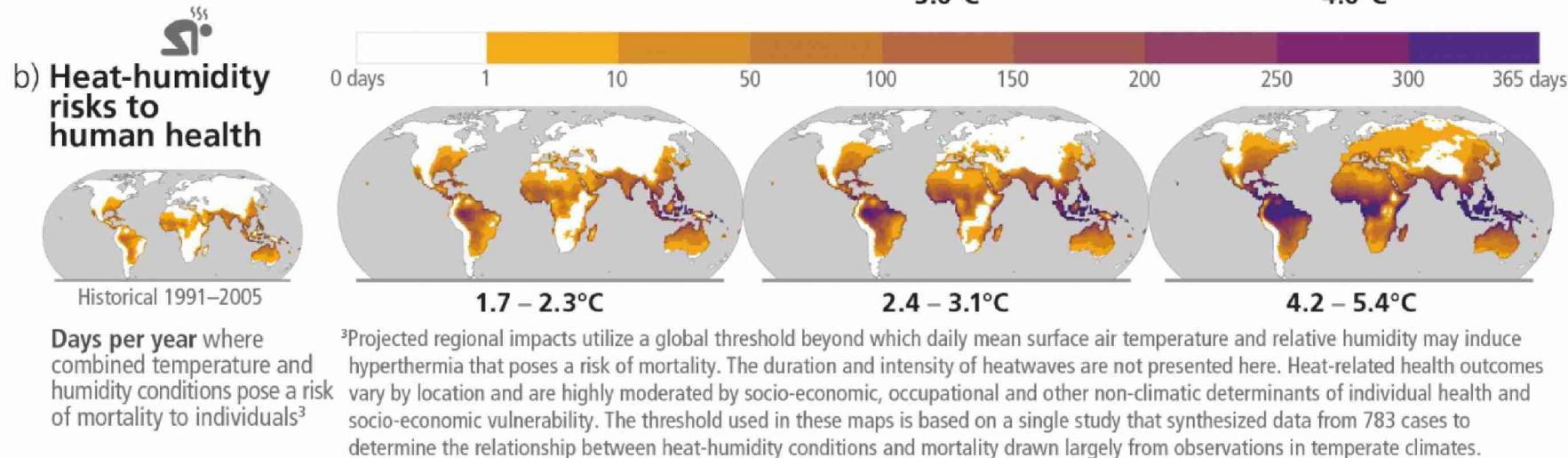
年平均土壌水分量の変化

年最大日降水量の変化
(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.2)

温暖化が進むと影響が深刻化し、地域差は拡大



生物種の損失
リスク



高温・高湿による
死亡リスク

(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.3a,b)

温暖化が進むと影響が深刻化し、地域差は拡大

生産性 減少

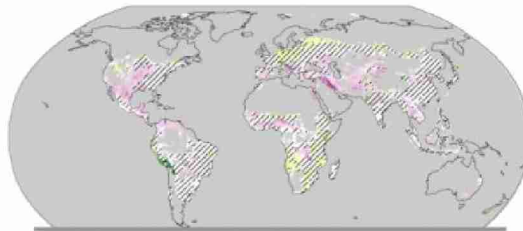
増加

-35% -30 -25 -20 -15 -10 -3 +3 +10 +15 +20 +25 +30 +35%

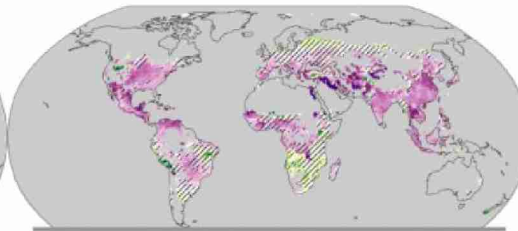
c) Food production impacts



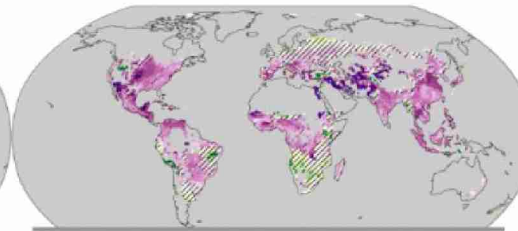
c1) Maize yield⁴ Changes (%) in yield



1.6 – 2.4°C



3.3 – 4.8°C

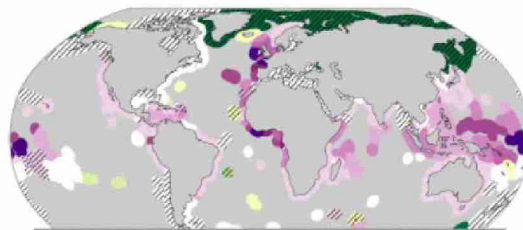


3.9 – 6.0°C

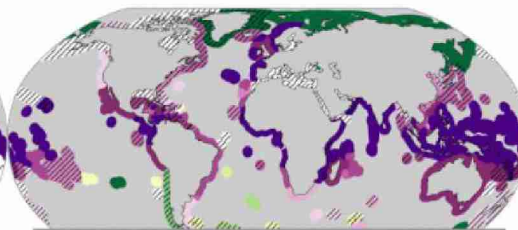
農業
(トウモロコシ)

⁴Projected regional impacts reflect biophysical responses to changing temperature, precipitation, solar radiation, humidity, wind, and CO₂ enhancement of growth and water retention in currently cultivated areas. Models assume that irrigated areas are not water-limited. Models do not represent pests, diseases, future agro-technological changes and some extreme climate responses.

c2) Fisheries yield⁵ Changes (%) in maximum catch potential



0.9 – 2.0°C



3.4 – 5.2°C

Areas with little or no production, or not assessed
Areas with model disagreement

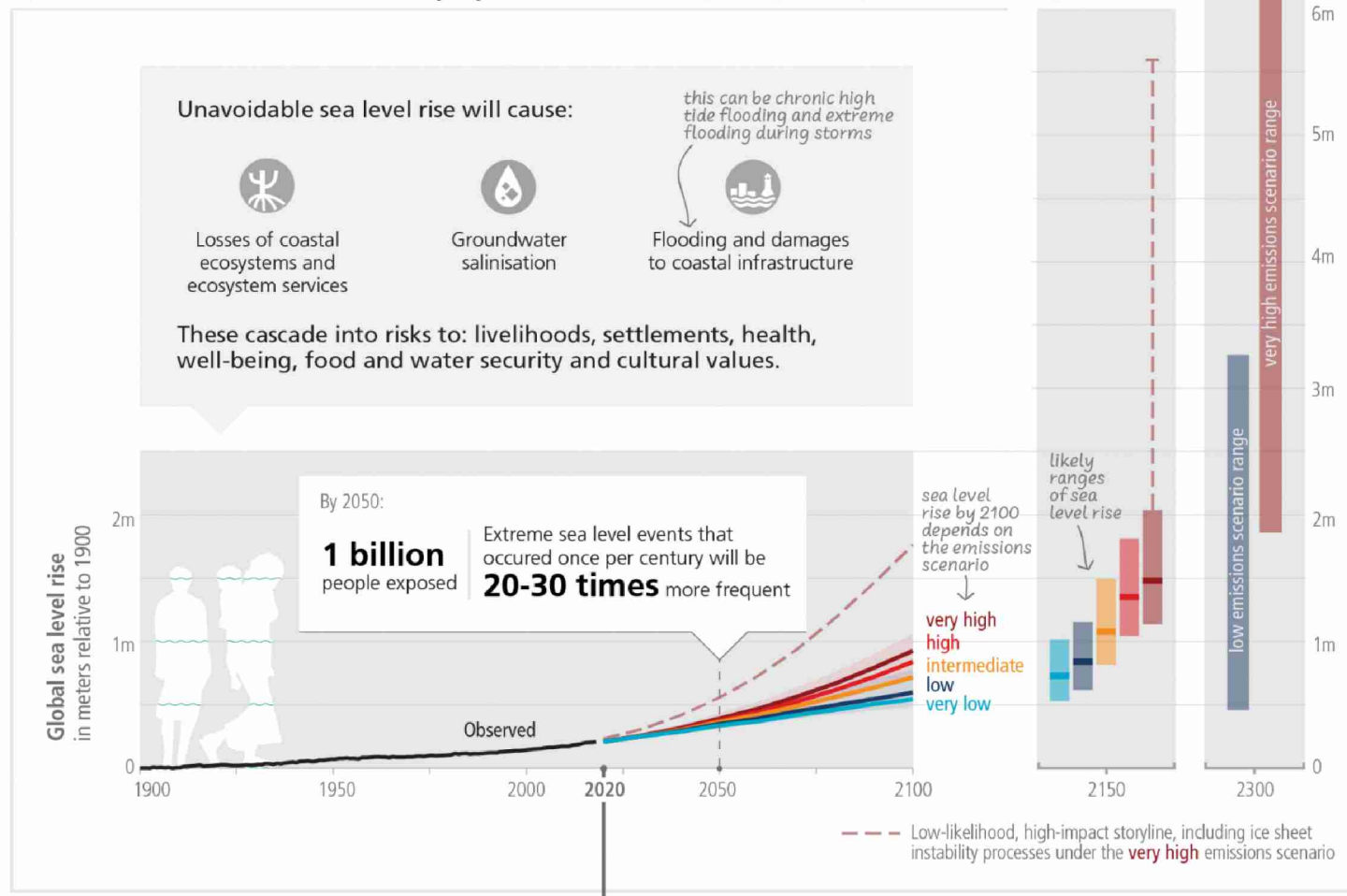
漁業

⁵Projected regional impacts reflect fisheries and marine ecosystem responses to ocean physical and biogeochemical conditions such as temperature, oxygen level and net primary production. Models do not represent changes in fishing activities and some extreme climatic conditions. Projected changes in the Arctic regions have low confidence due to uncertainties associated with modelling multiple interacting drivers and ecosystem responses.

(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.3c)

Sea level rise will continue for millennia, but how fast and how much depends on future emissions

a) Sea level rise: observations and projections 2020-2100, 2150, 2300 (relative to 1900)



海面上昇は 今後数千年続く

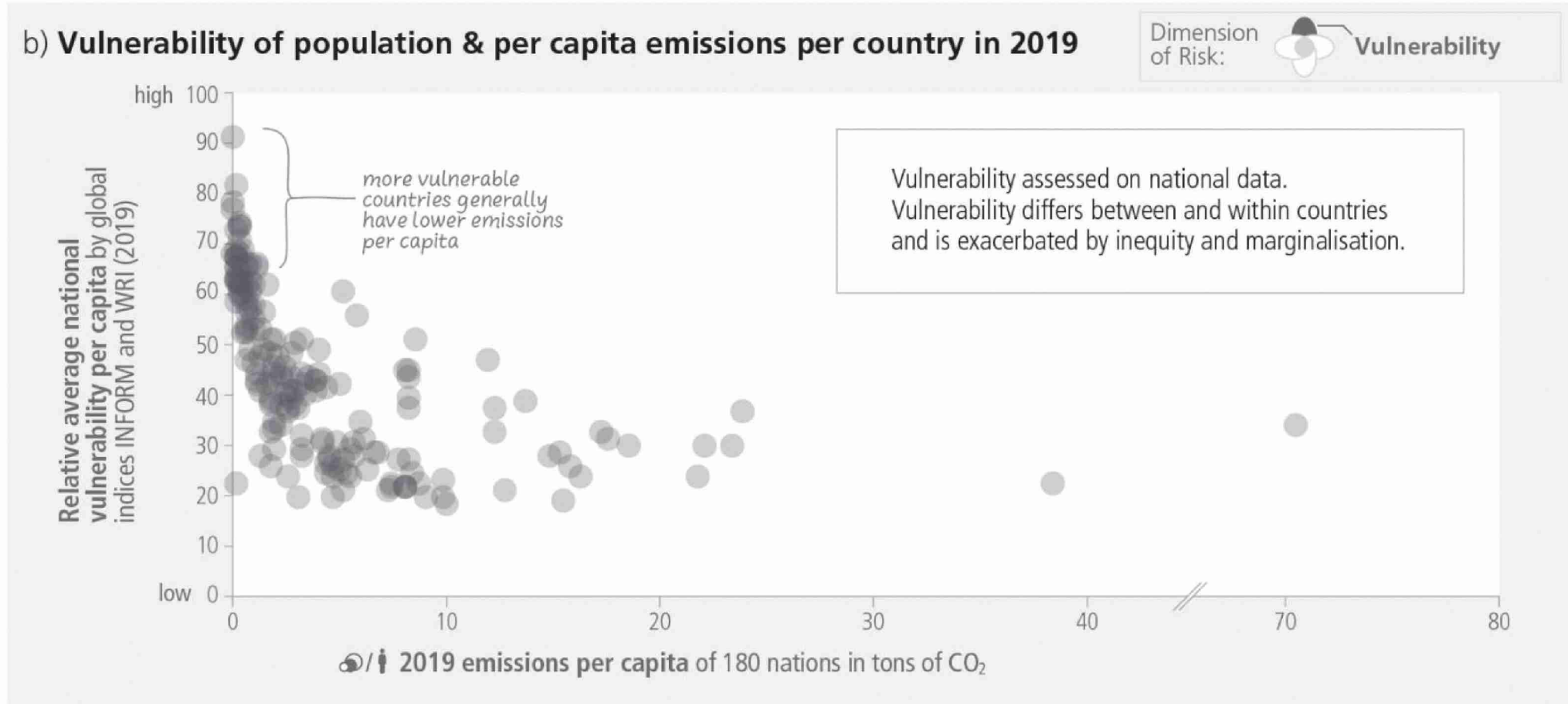
温暖化を低く抑えれば
将来の海面上昇も
相対的に低く抑えられる

南極氷床が不安定化し
海面上昇が加速する
可能性を排除できない

(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.3.4a)

原因に責任の無い人たちが深刻な影響を受ける

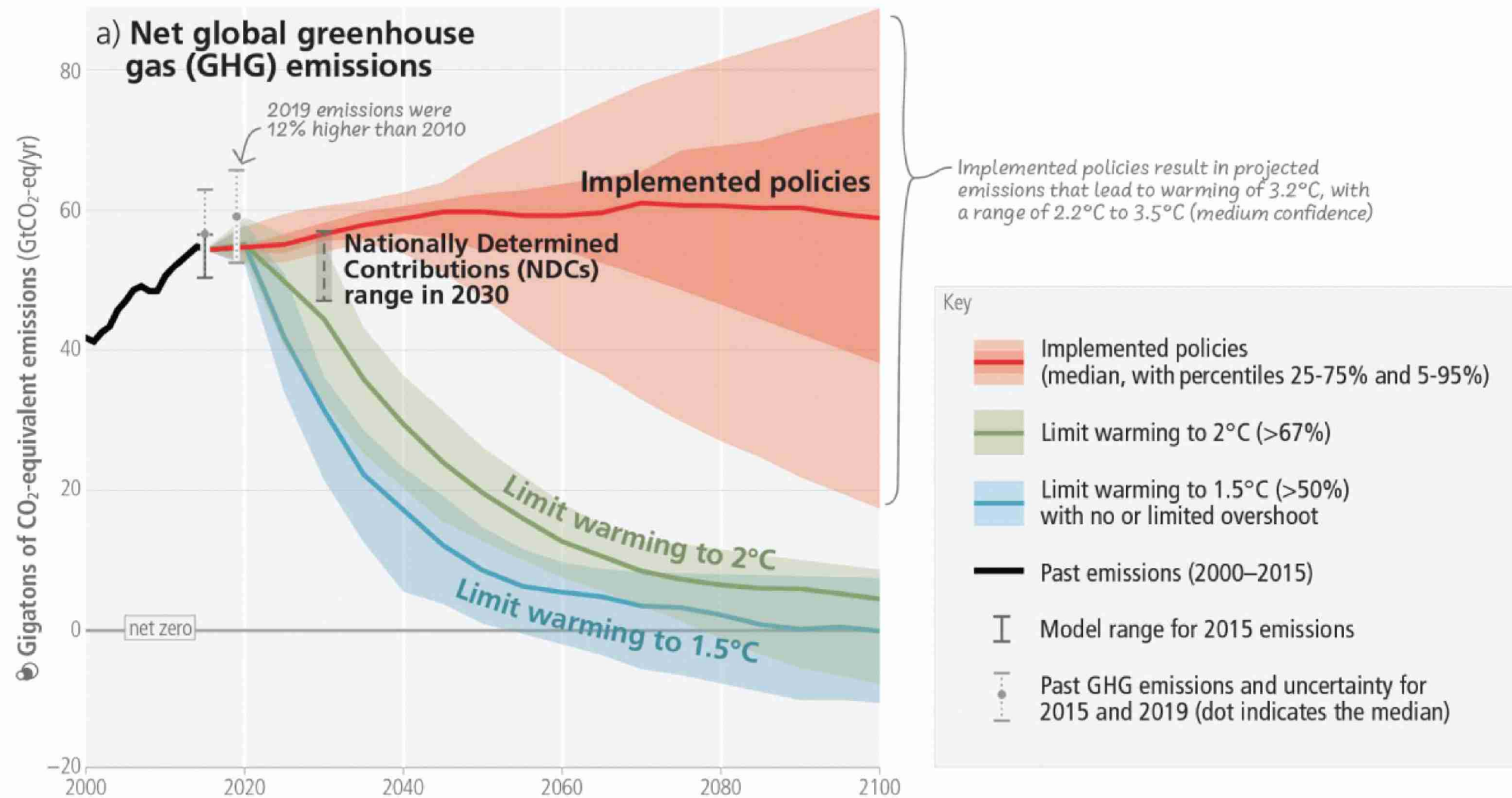
国毎の脆弱性指標



国毎の一人あたり排出量（2019年）

(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.3b)

現状の排出削減ペースはまったく足りていない

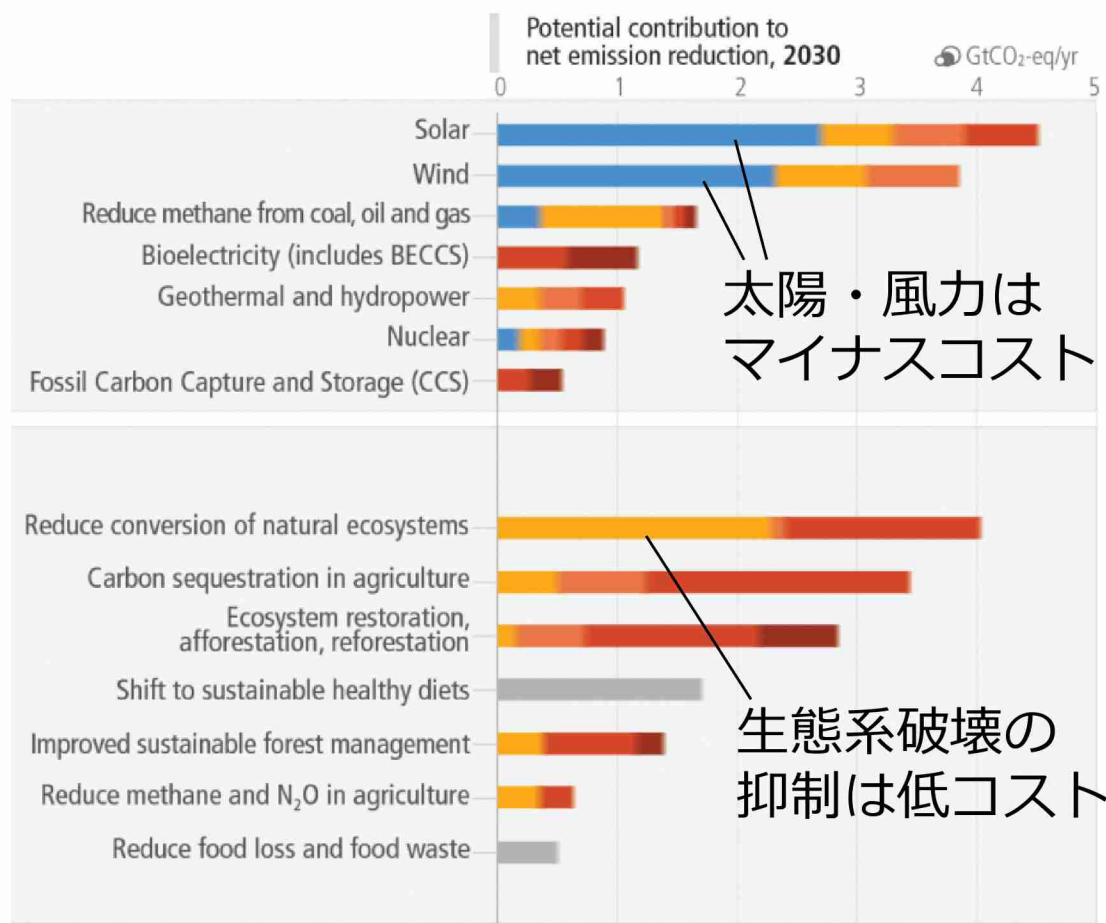


(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.5a)

排出削減の手段は存在しており、かなりの部分は安価

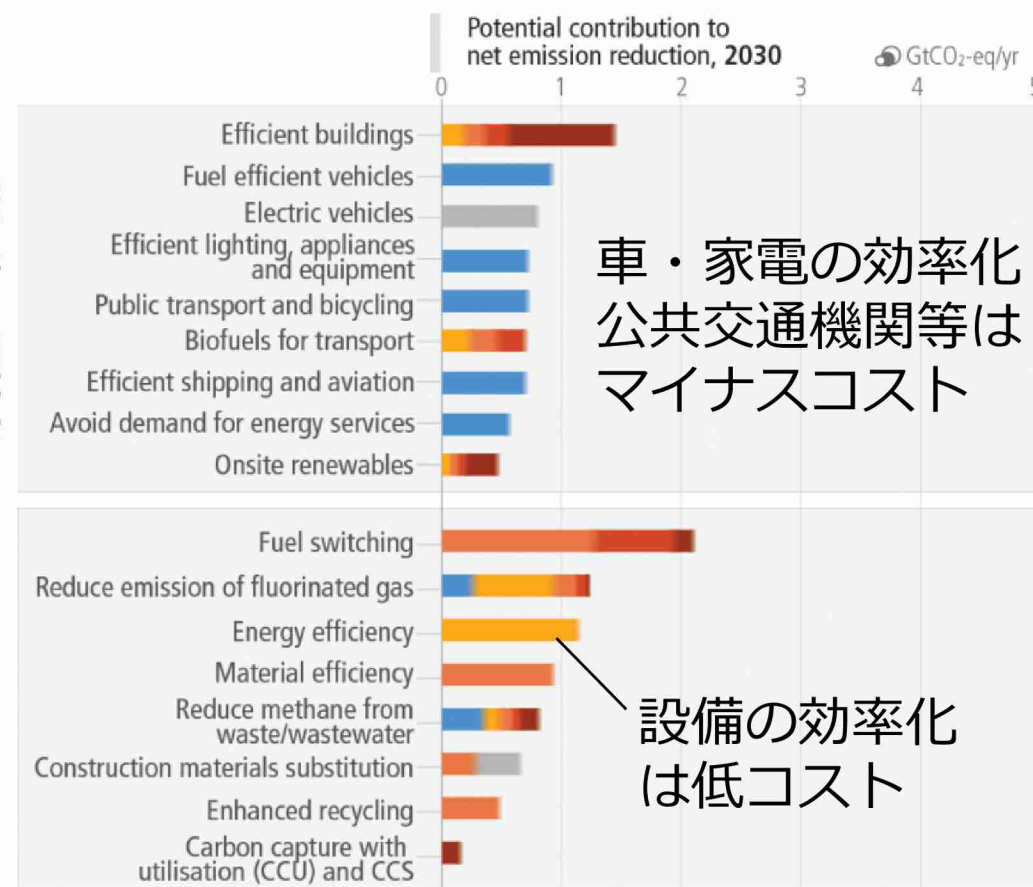
エネルギー供給

土地利用・食



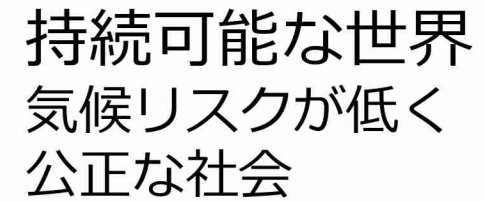
居住・移動

産業



(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.7a)

気候シミュレーションの開発



14

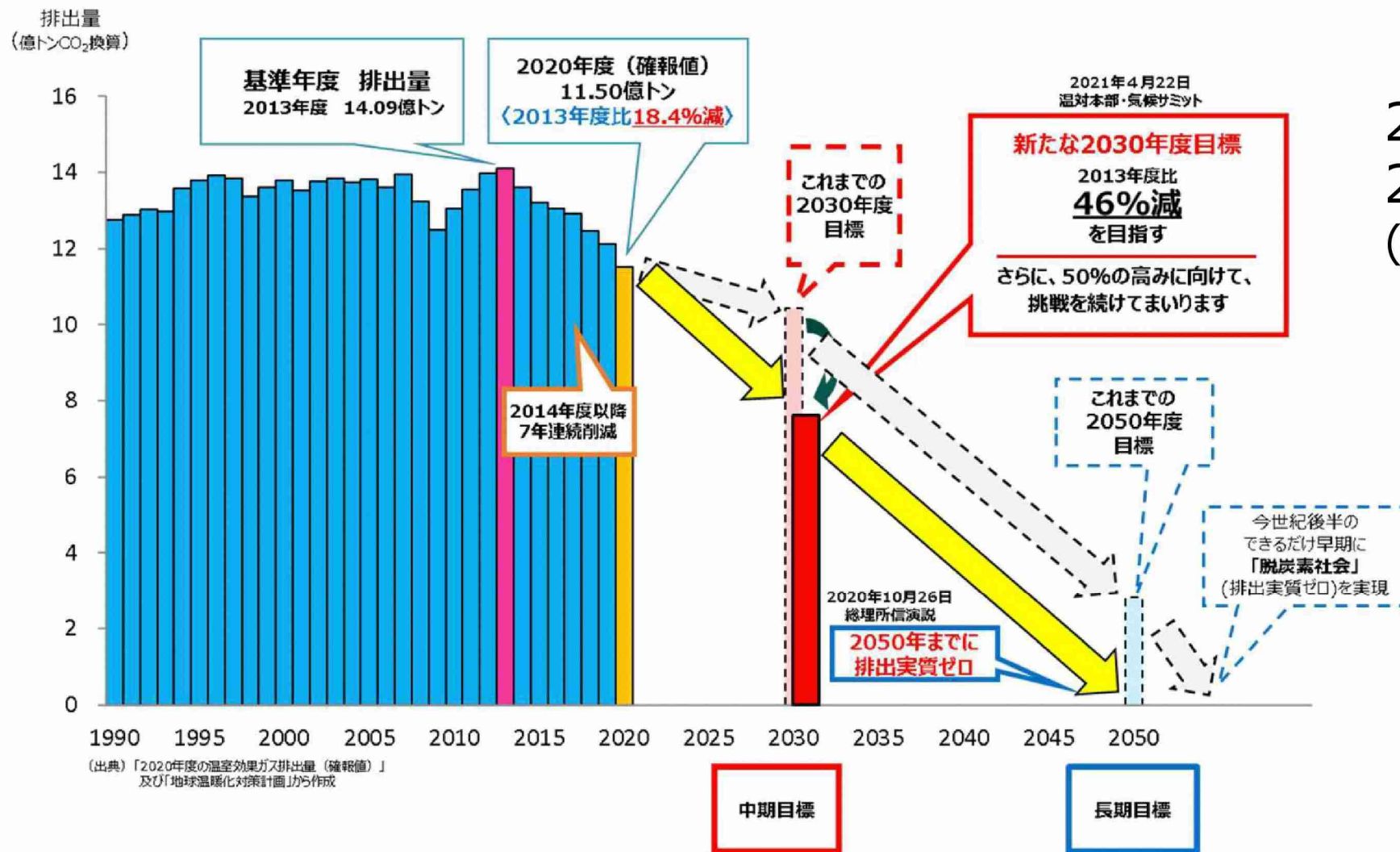
IPCC統合報告書は要するに何を言っているのか

- 世界の脱炭素化の転換（+適応）は、人類にとって、やらないと酷いことになるだけでなく、早くやった方が絶対にいい。
 - 気候変動影響が抑えられるだけでなく、健康等も改善。うまくやれば公平性も改善。
- そのために必要な資金も、技術の大部分も、人類は持っている。
- 今すぐ急激に舵を切らないと、実現不可能になってしまう。

しかし、

- 現状の転換スピードはまったく足りていない。投資もまったく足りていない。
- インフラや社会システムが化石燃料依存のパターンから抜け出せていない。
- 脱炭素化の敗者を産み出さないように配慮して進めなければいけない。

日本の排出削減目標



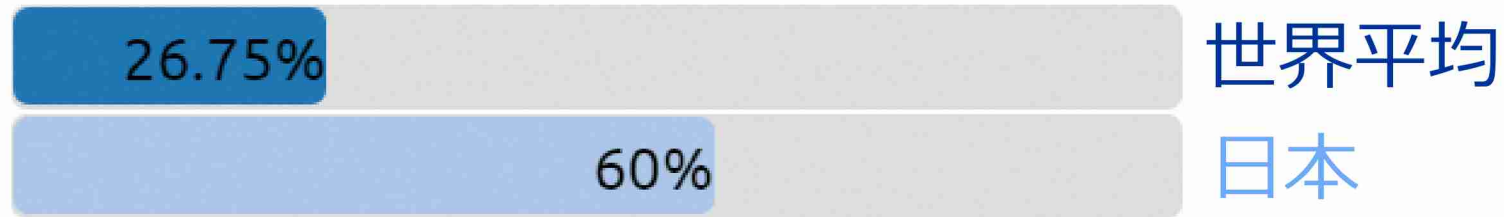
2050年 脱炭素化
2030年 **46%減**
(2013年比)

(環境省資料より)

Q. あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？



a. 多くの場合、生活の質を脅かすものである



(中国 14%, ドイツ 24%, ロシア 23%, 米国 25%)

b. 多くの場合、生活の質を高めるものである



(中国 65%, ドイツ 63%, ロシア 58%, 米国 67%)

世界市民会議 (World Wide Views on Climate and Energy)
2015年6月実施

「脱炭素化」はしぶしぶ努力して
達成できる目標ではない



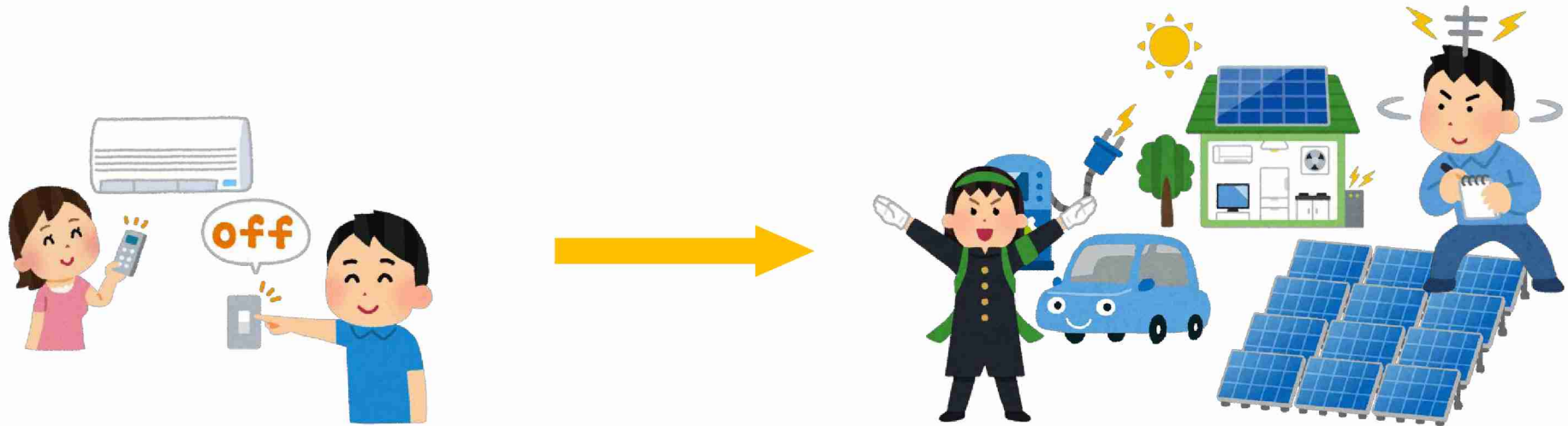
社会の「大転換」が必要がある

A red, multi-pointed starburst or explosion-like shape with a slightly textured, hand-drawn appearance. It contains two lines of white Japanese text.

社会の仕組みが変わる！
人々の常識が変わる！

例：産業革命、
奴隷制廃止など

「わたしたちにできること」



政策が入る



インフラや消費が変わる

例：建築物省エネ法

東京都太陽光パネル条例

気候政策を支持する

- 会話にする
- 活動している人を応援する
- SNSで発信する
- 署名する、パブコメを書く
- 有力者に意見を言う
- 投票する
- ...

人類は「化石燃料文明」を卒業しようとしている

- 少し前までは、化石燃料が枯渇する心配をしていた。
- 最近は、「たくさん余っているのに使うのをやめる」ことを目指し始めた（そうしないとパリ協定の目標を達成できない）。



「石器時代が終わったのは、
石が無くなったからではない」



Sheikh Ahmed Zaki Yamani (元サウジアラビア石油相)

講演②

カーボン フットプリントと 行動変容

棚橋乾 先生

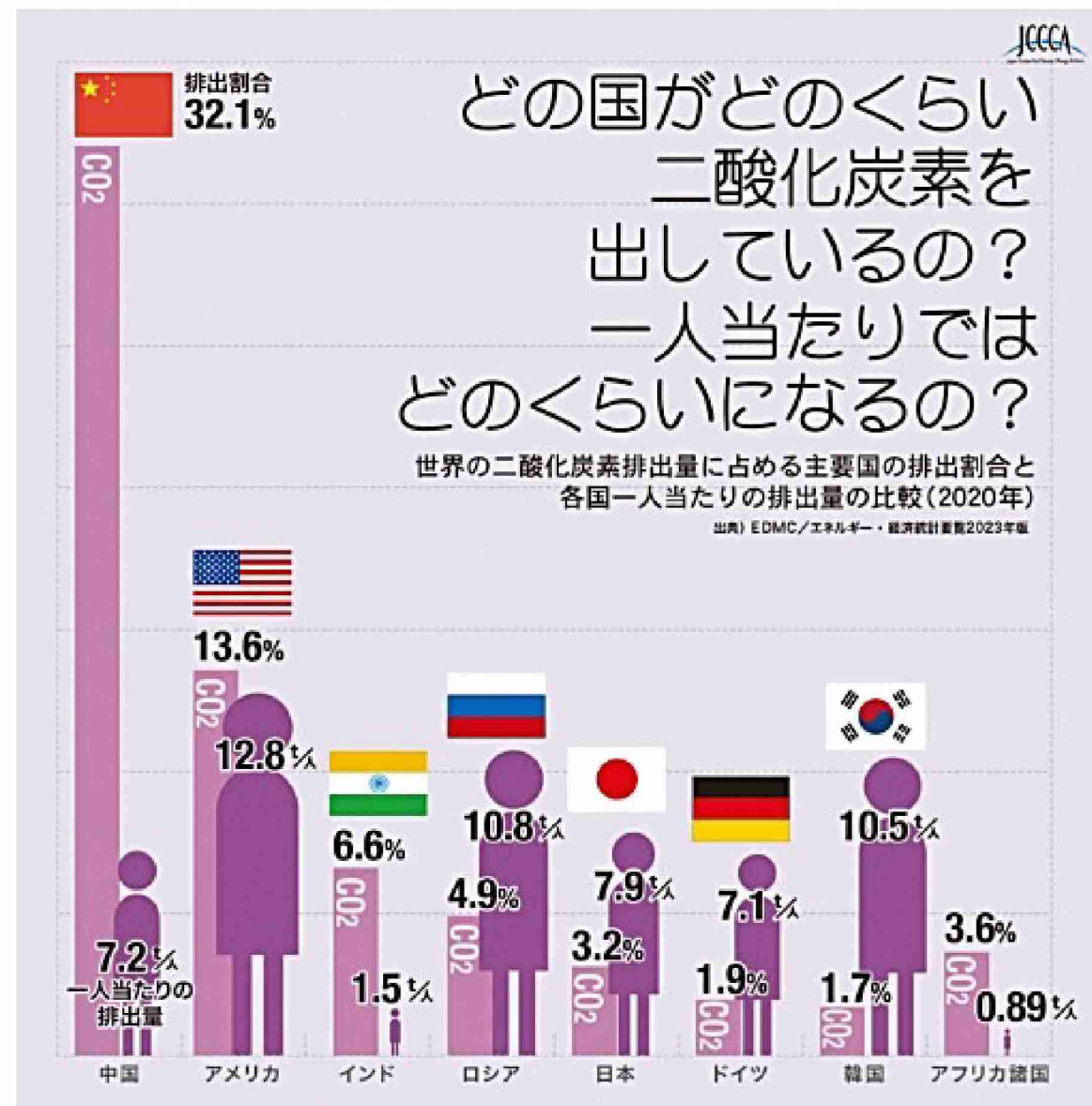
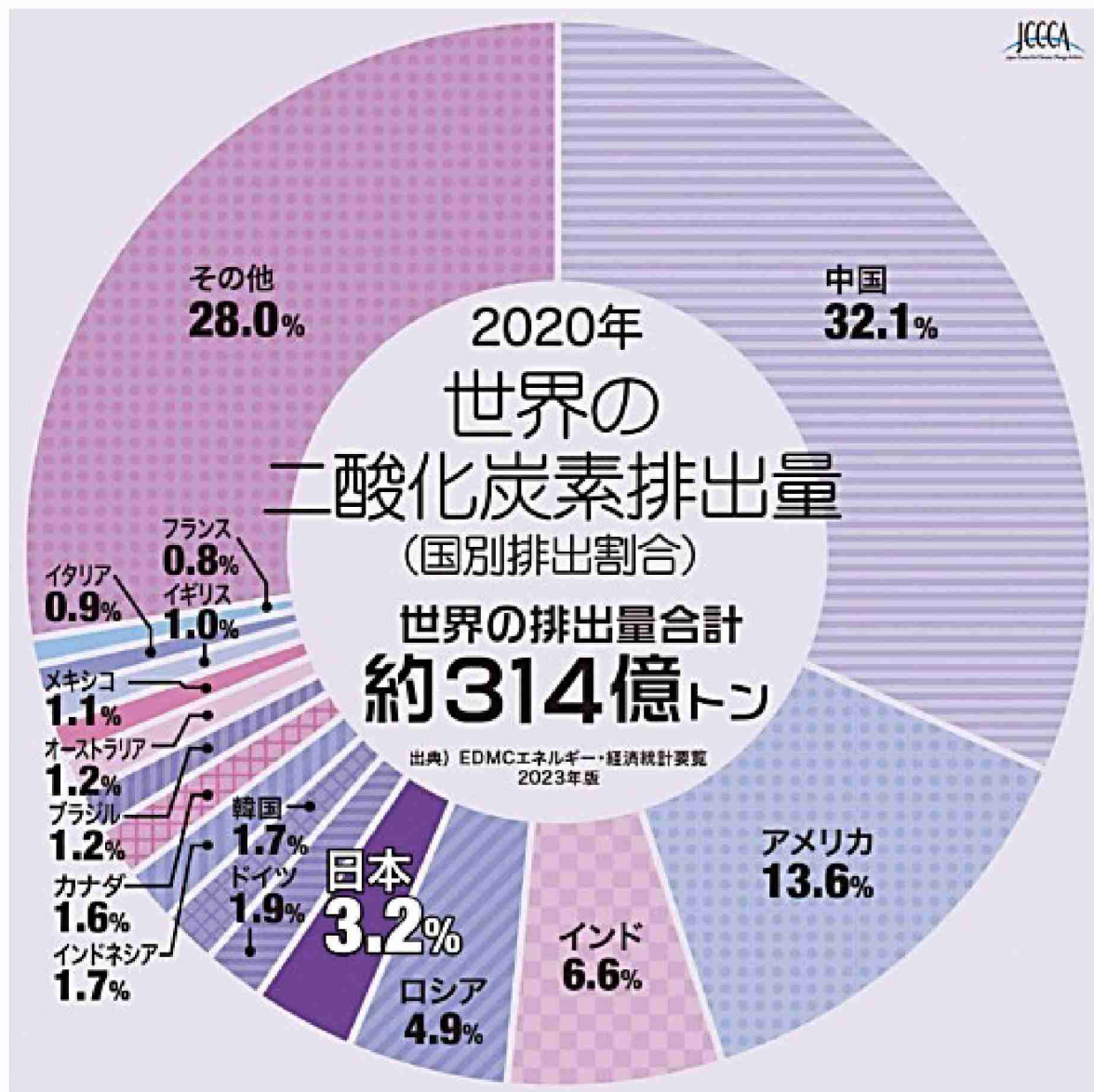
元多摩市立小学校校長

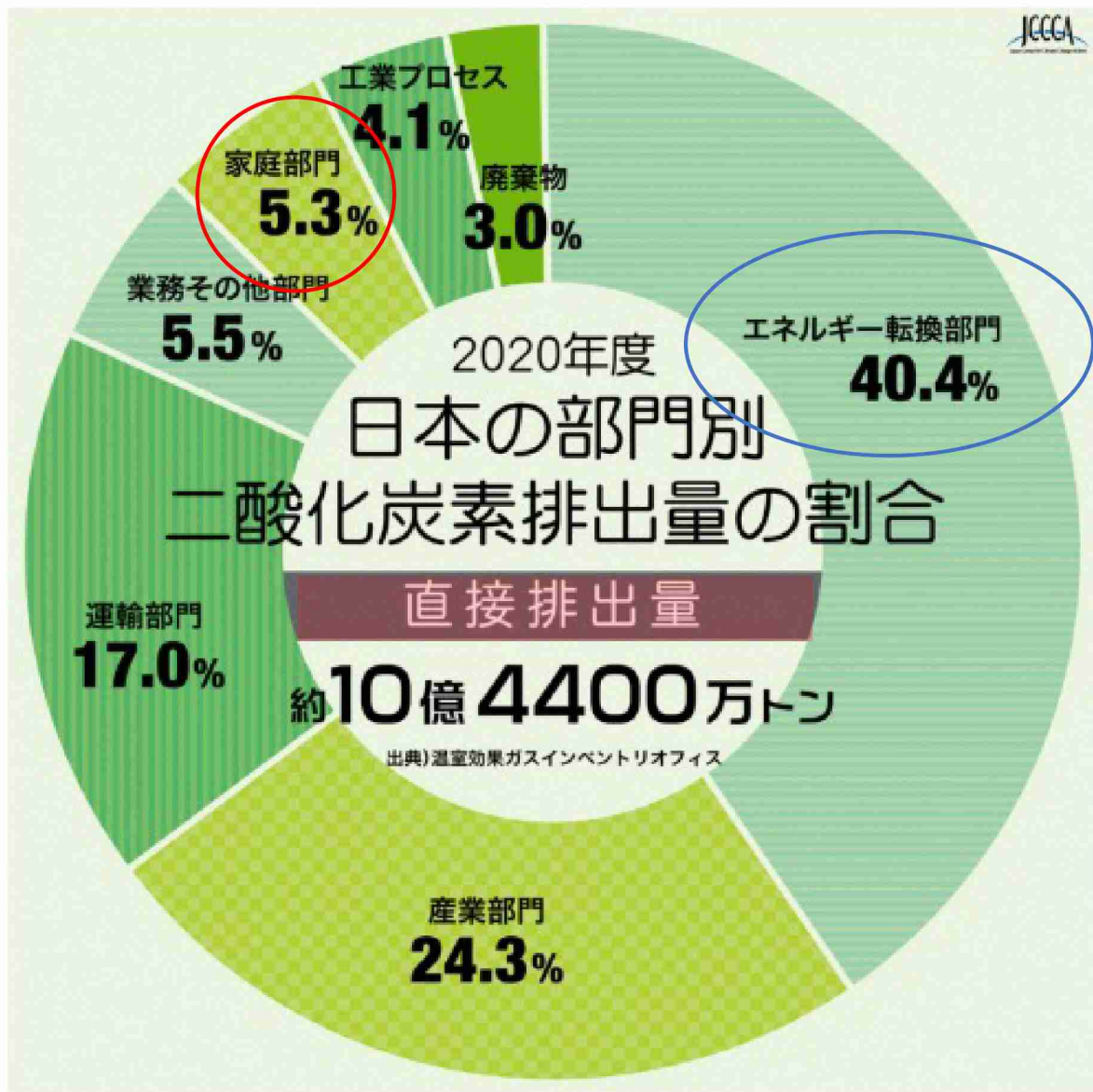
多摩市気候市民会議 講演②

気候変動をじぶんごとにする カーボンフットプリント

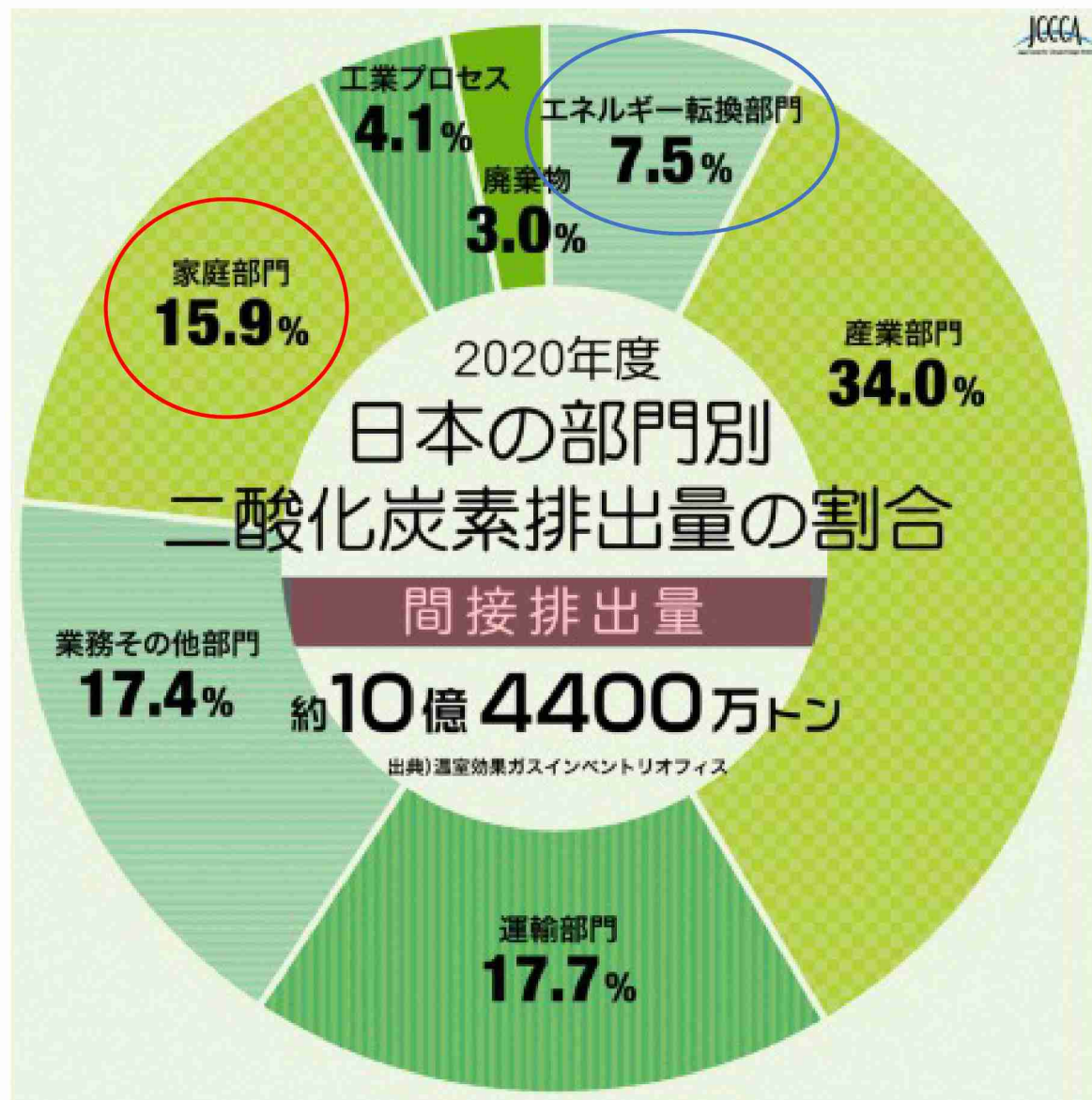


元多摩市立小学校長 棚橋 乾





各部門ごとに発生したCO2排出量



各部門ごとの消費量に応じたCO2排出量

直接排出量だけでなく間接排出量も考慮しないと、
CO₂排出量を正しく捉えることはできません。

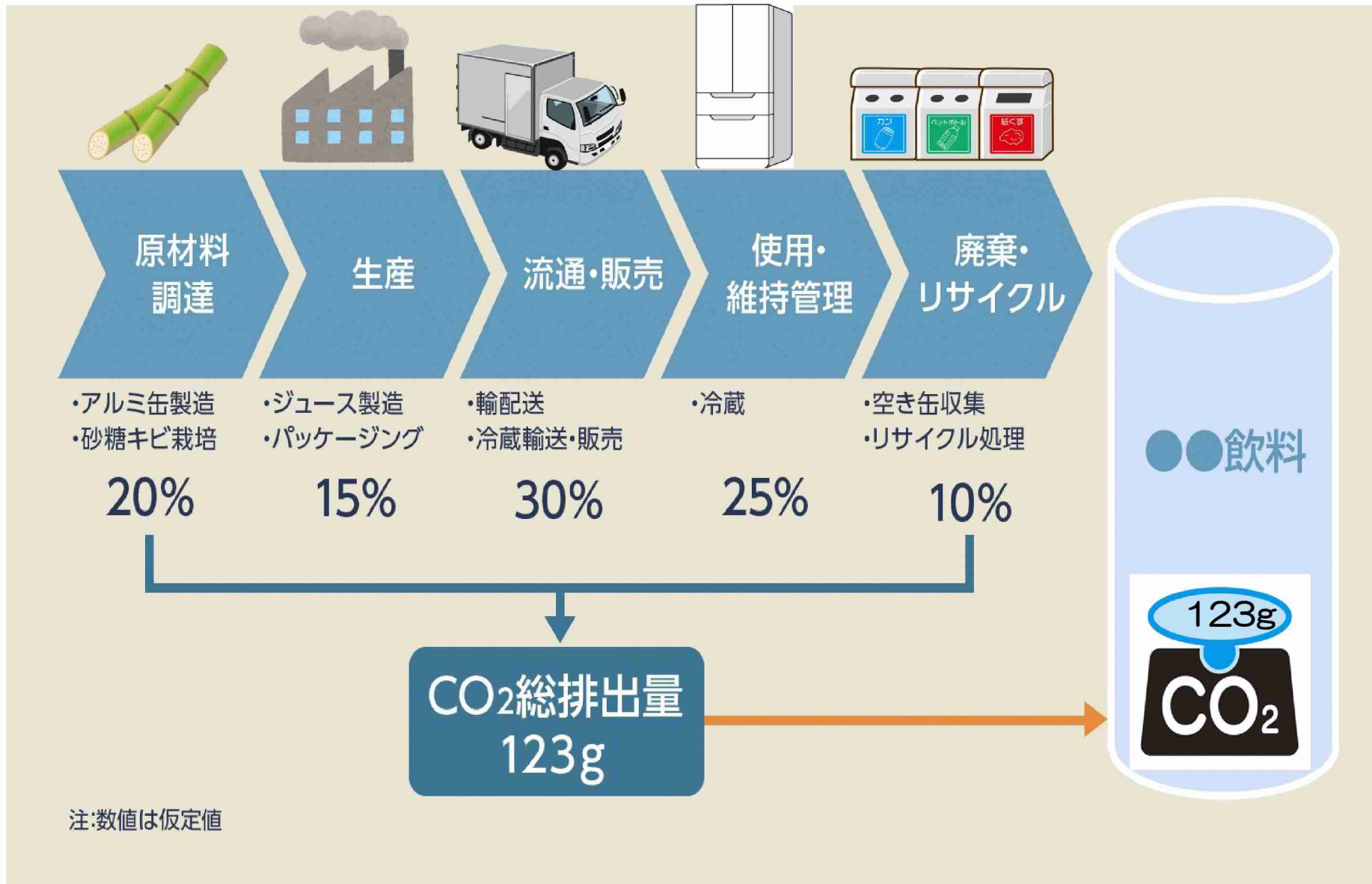
私たちの日常生活や製品の製造過程でも同じです。

全ての商品・サービスがつくられてから捨てられるまで必要とする多くのエネルギーは、主に石油や石炭、天然ガスなど化石燃料から得ているため、温室効果ガスGHGを排出しています。

カーボンフットプリントは、各過程で排出されたGHG量をCO₂量に換算して表示します。



カーボンフットプリントの流れ



カーボンフットプリントで身近な製品を調べる



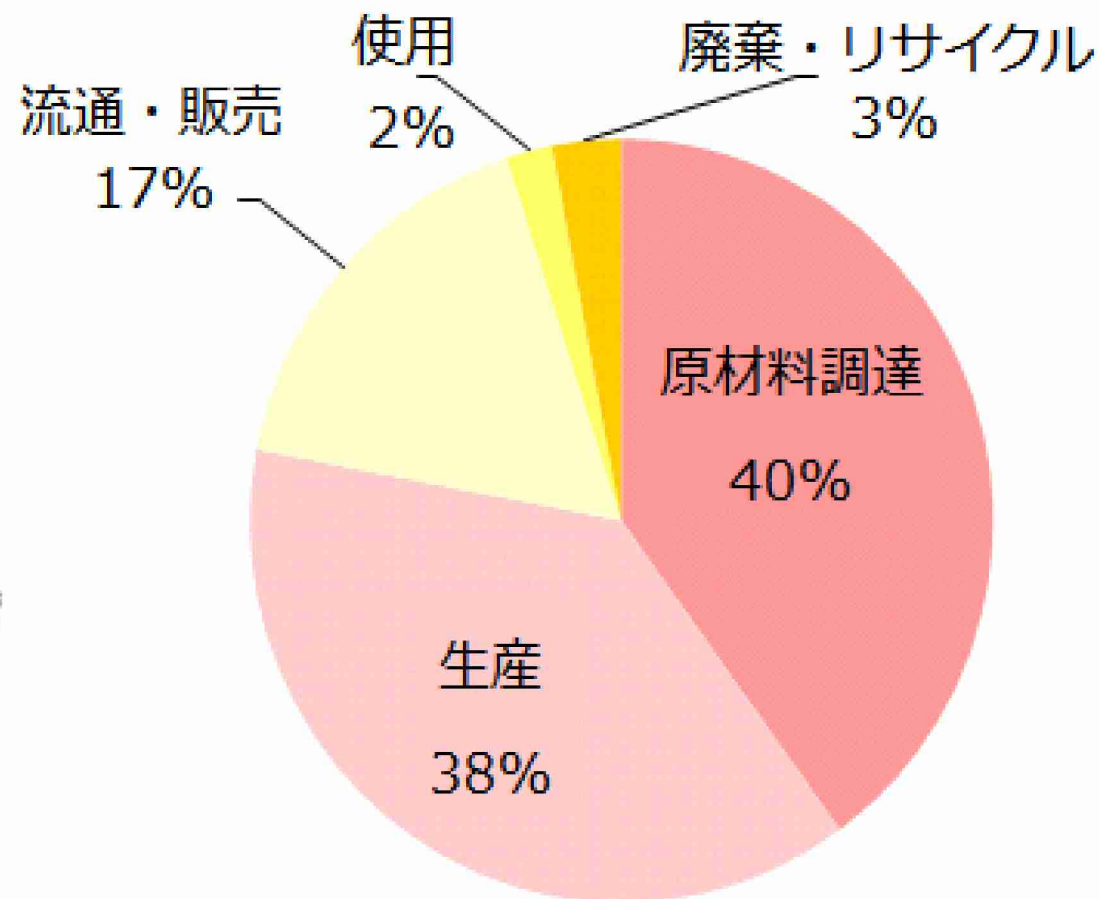
広範囲PCR

630g

CO₂

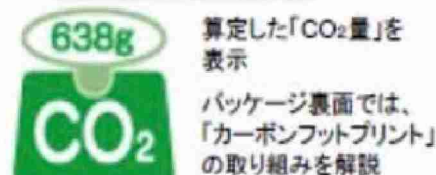
カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号:CV-BR01-003

パッケージにはこの製品をお客様に届けるまでにどれだけのCO₂が排出されたかを表示。(2010年～2012年)
630g/箱のCO₂を排出していたことを認識。



BOXあずきバーのライフサイクルにおけるCO₂の排出量

- 現在、約300の事業者がカーボンフットプリント制度試行事業に参加。
 ○平成21年10月から現在までに食品や洗剤、文房具等の25商品(現在確認中)が市場に登場。



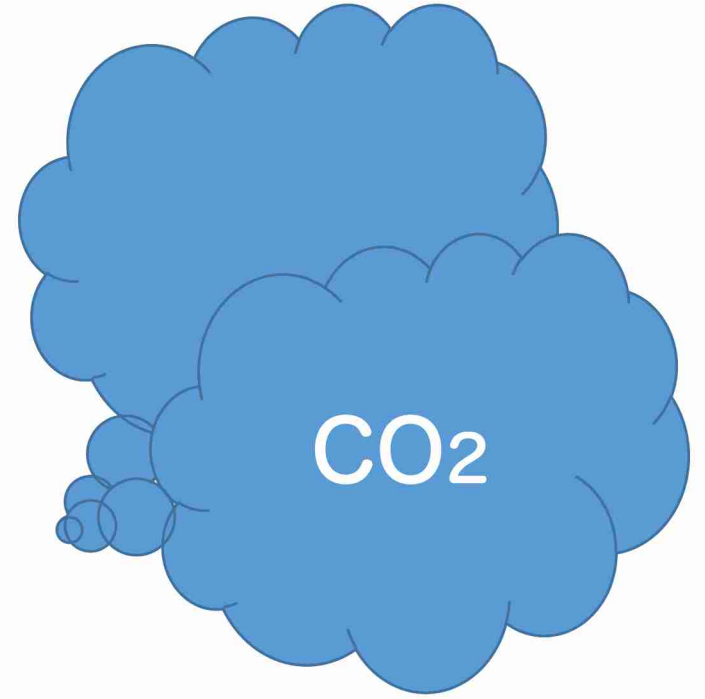
ECOへの取り組み!

カーボンフットプリントとは
 商品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂相当量に換算して表示したものです。



出典:マイカルホームページ
 日本ハムホームページ
 イオンホームページ
 シヤチハタより

では、あなたが1年間に
排出しているCO₂量は
どれぐらいでしょう？



あなたのカーボンフットプリント量は？

「じぶんごとプラネット」を使って
CO₂排出量を計算してみよう



※ 4 人家族の例

電気使用量	1000kwh	(250kwh/人)
ガス使用量	120km ³	(30km ³ /人)

気候変動を じぶんごとにする

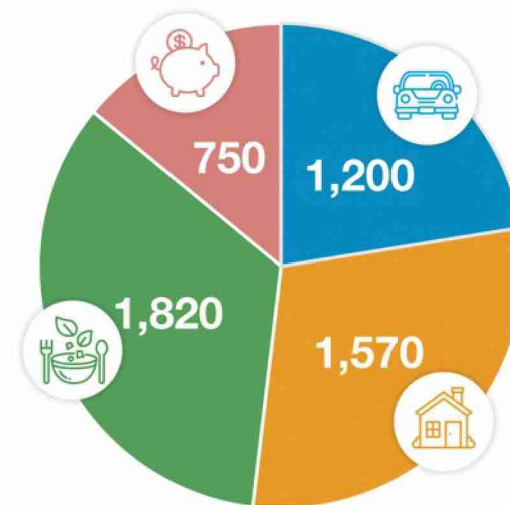
脱炭素で持続可能な未来のために、ひとりひとりが今の生活スタイルの気候変動への影響を知り、小さなことから一つずつアクションを起こす。こうして「じぶんごと」の輪が広がっていきます。



じぶんごとプラネット

あなたの1年間の
カーボンフットプリント量

5,340
kg CO₂e



じぶんごとプラネットでカーボンフットプリント量を調べよう

	排出CO2量	多かった項目 1、 2
住居		
食		
移動		
モノ・サービス		

IPCC 第6次評価報告書（2023/03）から一部抜粋

- ・ 一人当たりのCO₂排出量は、グローバル平均で 6.9 tCO₂です。
- ・ 2019年時点で、世界人口の約35%は、一人当たり 9 tCO₂以上の排出量の国々に住んでいます。
- ・ 世界人口の41%は一人当たり 3 tCO₂未満の排出量の国々に住んでおり、電気などを利用できていません。最貧国一人当たりの排出量は 1.7 tCO₂、小島嶼発展途上国は 4.6 tCO₂です。
- ・ 一人当たりの排出量が最も高い10%の世帯は、世界の消費ベースの家庭温室効果ガス（GHG）の34-45%を排出しています。
- ・ 一方で下位50%は13-15%を排出しています。

脱炭素型ライフスタイルの選択肢

カーボンフットプリントと削減効果：全国・52都市・10地方・4大都市圏別データベース

地球温暖化を1.5℃未満に抑える目標

気候変動による異常気象、海面上昇、食糧供給、生態系破壊などへの重大な影響を低減するために、地球の平均気温上昇を1.5℃未満に抑えることの重要性が国際的に認識されています。この目標を達成するためには、世界全体で2030年には1人1年あたりのカーボンフットプリントを2500～3200 kgCO₂e（下限～上限目標）→ に抑える必要があります。本ポータルサイトで公開されているデータブックには、3000 kgCO₂eを目標として、各地域別にどれだけの削減を目指す必要があるかの削減量を記載しています。

東京都区部の例

2030年目標達成のためには

4,270 kgCO₂e 削減



講演③

「次期多摩市みどりと環境基本計画」策定の進捗状況と若者たちの意見

山下紀明 先生

多摩市みどりと環境審議会 地球環境分科会会長
特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP)
理事・主任研究員

次期「多摩市みどりと環境基本計画」について



現在、次期計画を策定中です

市民が「かかわる」計画づくり

令和4～5年度

みどりと環境審議会

アンケート

ワークショップ（複数）

多摩市気候市民会議

パブリックコメント

説明会

■多摩市での取組み経過

- 平成10年 : 環境基本条例 策定
- 平成13年 : 環境基本計画 策定
- 平成18年 : 環境基本計画 改定
- 平成24年 : みどりと環境基本計画 策定
- 平成29年 : みどりと環境基本計画 中間見直し
- 令和2年6月 : 多摩市気候非常事態宣言
～ライフスタイルの変革を促すための先行的取組を実施

■次期計画の概要

<目的>

- ・ 現在及び将来にわたって市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要とする良好な環境の確保
- ・ 環境の保全、回復及び創出に関する施策の総合的かつ計画的な推進

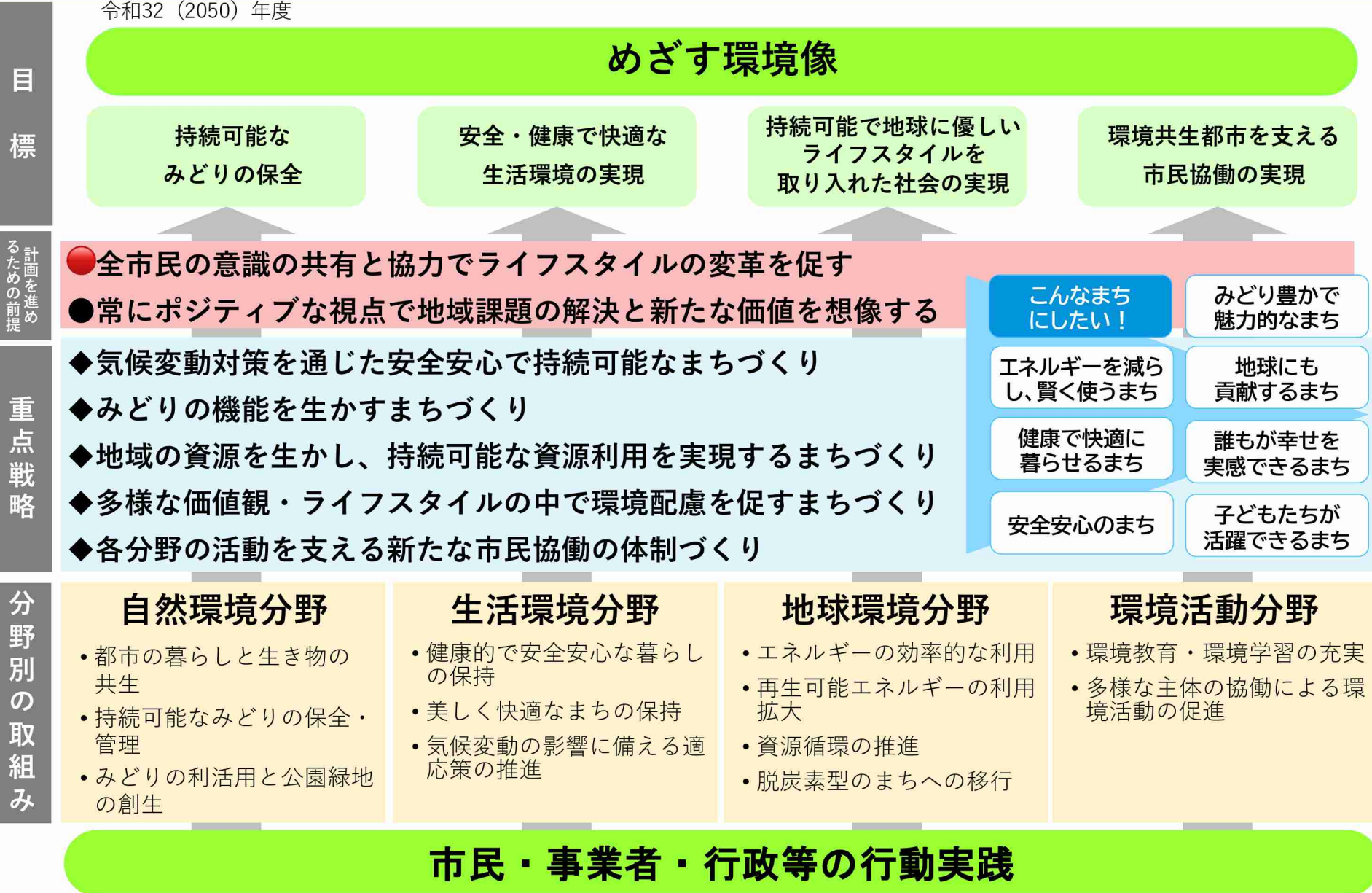
<期間>

- ・ 21世紀半ばを展望
- ・ 令和6（2024）～15（2033）年度【10年間】

<推進主体>

- ・ 市民、事業者、市民団体等、市、来訪者

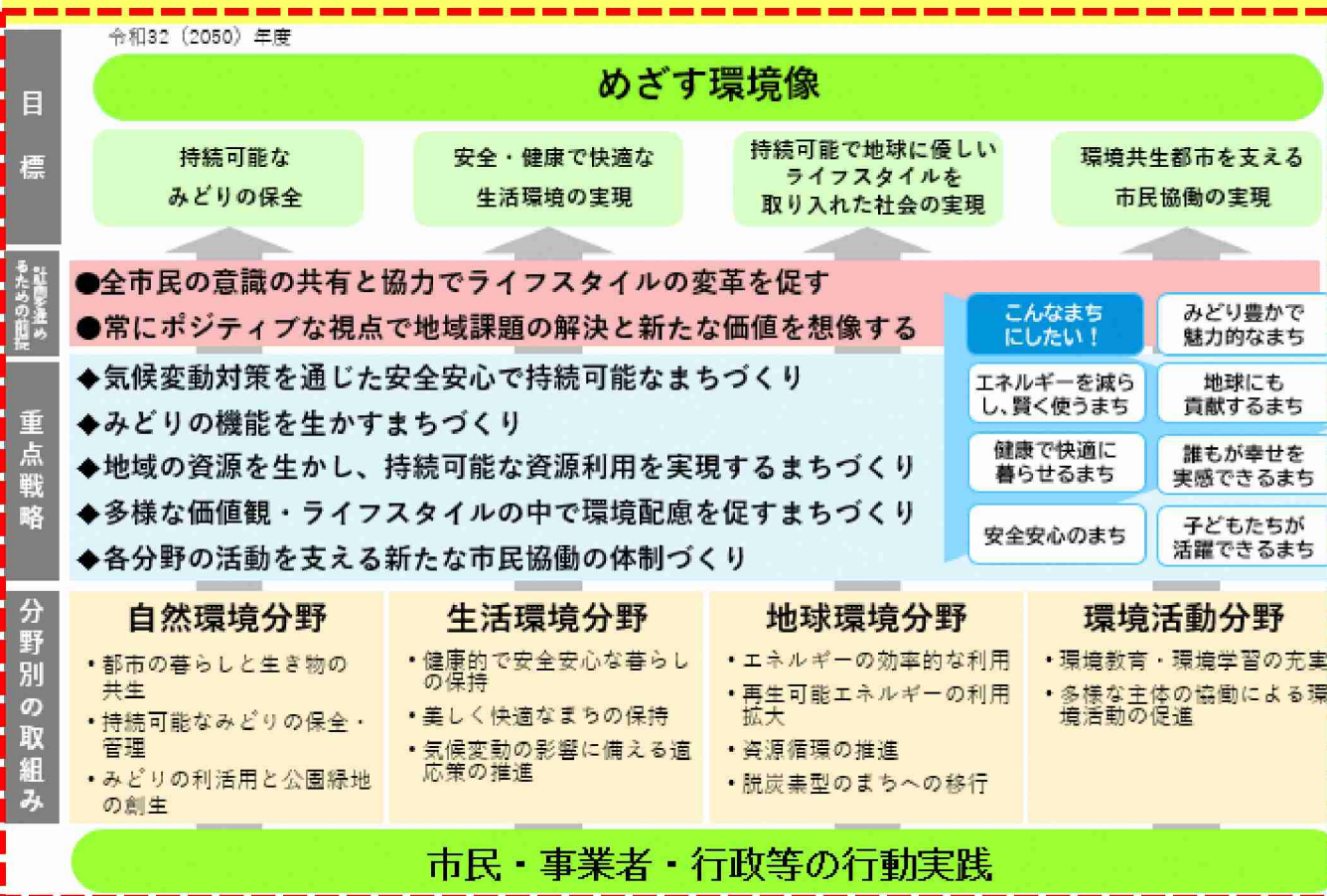
次期「多摩市みどりと環境基本計画」 骨子



気候市民会議

次期「多摩市みどりと環境基本計画」 骨子

望ましい多摩市のイメージは？



どのような生活・活動を目指すか？

市民は何をすべきか？

取組を広げるためには？

気候市民会議が果たす役割と策定まで

多摩市気候市民会議

気候危機を一人ひとりが
当事者として捉え
話し合う

望ましい多摩市の
イメージは？

どのような
生活・活動を
目指すか？

市民は何を
すべきか？

取り組みを広げる
ためには？

■次期計画の策定スケジュール

令和4年度

- 現行計画の振り返りと課題抽出
- 目標の検討
- 次期計画の骨子の策定

令和5年度

- 市民・事業者の取り組み、市の施策の検討
- 次期計画素案の作成
- パブリックコメント
(令和5年10～11月)
- 次期計画の策定
(令和6年3月)



気候市民会議が果たす役割と策定まで

【未来を担う若者】
中学生、高校生、大学生

- 30年後（2050年）に実現したい多摩市の環境・社会のイメージ
- 私たちはどのような取組みを、どう広げていくか

**未来創造ワークショップ
（2023年4月開催）**

望ましい多摩市のイメージは？

議論の前提



多摩市気候市民会議

どのような生活・活動を目指すか？

気候危機を一人ひとりが
当事者として捉え
話し合う

市民は何をすべきか？

取組みを広げるためには？



■次期計画の策定スケジュール

令和4年度

- 現行計画の振り返りと課題抽出
- 目標の検討
- 次期計画の骨子の策定

令和5年度

- 市民・事業者の取組み、市の施策の検討
- 次期計画素案の作成
- パブリックコメント
（令和5年10～11月）
- 次期計画の策定
（令和6年3月）

未来創造ワークショップ

未来創造 ワークショップ

君たちが描く多摩市の未来



30年後に
実現したい
社会？

そのために
どんな活動が
できるだろう！？

主催：多摩市役所



2023.7.1 (土) ② 多摩

議論をリアルタイムに
見える化する技法

グラスツルコ・ティグ
を使って

みなさんの
想いやアイデア
を描いていきます！
あびや

未来創造ワークショップ

■30年後（2050年）に実現したい多摩市の環境・社会のイメージ



未来創造ワークショップ

■私たちはどのような取組をし、それをどのように広げていくか

＼実現したい環境・社会のために／

やていきたい・やていくべきアクション

は、これだ!!

脱炭素

A hand-drawn illustration featuring a person with glasses and a speech bubble. The person is pointing towards a speech bubble that says "水素の車を当り前に" (Put hydrogen cars in the foreground). Above the person, there is a speech bubble that says "エコバッグ" (Eco-bag) and another that says "種まき" (Planting seeds). To the right, there is a drawing of a small house with a tree and the text "未来のために!" (For the future!). Below the person, there is a drawing of a car. To the right of the car, there is a list of items: "SNSも活用" (Also use SNS) and "企業とコラボして" (Collaborate with companies). The entire illustration is enclosed in a dashed-line border.

B 情報を発信しよう！
SNS スマホ メール ポスター 手紙
例文は—
有名人と一緒に
写真を撮りにする！
やったー！
できちゃった！

C 遊ぶ発電
 玩具で遊びながら
 発電しちゃう!

健康×経営
 健康な企業人!

Q. 誰に伝えたい？

若者 会社の人にも、
高齢者

すべての年代！

Q. ボランティアの
モチベーションとは？

クボ
¥20
有名人と
一緒に参加
...
アイドルの
人と

クボ-?!

🌀

2.4. 資源循環

I ごみをどのように
活用しているか？

ごみを再利用して
文化祭・祭り

食べ残しを
持ち帰り

ごみを
集めて

ピー
バッグ

Q. ポリマーに
対して来にくくする
には?
コステや
景観を用意して、
また来にくくするに!

Q. 大人を
模倣にさせるには？

そうけし
にする。

大人には！

生物多樣性

D

- 知りあひをつくる。
 - 授業や講習は
- 守るために
 - 陰の方を発信
 - シリヤクルに進める

Illustrations include a laptop with a smiley face and a person with a speech bubble.

E 自分たちで
育てる イラストも使ったり。
生物の多様性
ありのままの姿を伝える。

F 地域と活用つくる知の体験
行動力の育成 学主に向けて

Q/罰金を払うために？

罰金

自分から正しい行動をする

Q. 投函の例は？

参加型にする！

ふー ありがとうございます。

未来創造ワークショップ

30年後（2050年）に実現したい 多摩市の環境・社会のイメージ	私たちが行うべき取組の内容、 取組の広げ方
脱炭素 - 車の排気ガス（二酸化炭素の排出を含む）を少なくする。 - 坂を減らし、車の二酸化炭素の排出量を減らす。 - 電気を自給自足する。 - 家の屋根やベランダに太陽光パネルを設置して、家の電気を賄う、余ったら売電する。 - 道路に太陽光パネルを設置して発電する（森林を伐採せずに太陽光パネルを設置）。 - ごみを電力に変える。 - 遊ぶことで発電できる遊具を公園に設置する。 - 野菜を街の中で生産して地産地消する。	○次世代自動車の普及等 - 二酸化炭素を排出しない水素自動車などを普及させる。 - 太陽光パネルを備えた自動運転バスを作る。 - ごみの収集を自動化して収集車を使わないようにし、二酸化炭素の排出を削減する。 ○再生可能エネルギー、未利用エネルギーの活用 - 電車を再生可能エネルギー電力で動かす。 - 遊ぶことで発電できる遊具を公園に設置する。 - 会社ジムを作り、運動することで発電できる器具を設置する。発電した電力は会社の中で使う。「健康×電気」をテーマにして普及させる。 - ごみを燃やす熱で発電する（リサイクルと発電のどちらを優先すべきか検討が必要）。 ○公共交通機関の利用 - できるだけ車ではなく公共交通機関を利用する。 - 公共交通機関の運賃を安くする。運賃を一定の金額以下にした企業には補助金を出す。 ○脱炭素型の消費行動 - エコラベルの意味を周りに伝える。 - プラスチックを減らすためにエコバッグを持ち歩く。 ○地産地消の促進 - 地産地消のものを選ぶ。 - 飲食店も参加して地産地消する。

未来創造ワークショップ

	30年後（2050年）に実現したい 多摩市の環境・社会のイメージ	私たちが行うべき取組の内容、 取組の広げ方
ごみ・資源循環	- ごみが出ない街にする。 - リサイクルを100%にする。 - お弁当に使われる仕切りを食品に代替する。 - 買い物時にタッパーなどを持っていき、食材などを詰めて帰れるようにする。 - 生ごみでたい肥を作る。材料を学校で配布する。 - リサイクルショップや古着屋を増やして、リサイクルやリユースを盛んにする。 - 使わなくなったボールやラケットなどを貸し出して、遊ぶ人も楽しくし、ごみも少なくする。 - ポイ捨てがなく、ごみがない清潔な街にする。	○ごみ・資源循環に配慮した消費行動 - 必要な分だけを買う。量り売りを普及させる。少量サイズの商品も売る（例えば、牛乳であれば、1ℓと飲みきれない人もいるため、250mlサイズを売る）。 - 消費期限が近いものを買う。消費期限が近いものを安くする。 - 総菜などを買う際にプラスチックのケースではなく紙のケースに入ったものを買う。 - 過剰包装をしなくても安心安全であることを、企業を通じて宣伝する（今は、箱の中に袋、袋の中にまた袋があり無駄が多い）。 - 自然に優しいものは、値段が高くなりがちなので、多摩市が補助金を出しアピールすることで、同じ値段で買えるようにする。 - プラスチックを減らすためにエコバッグを持ち歩く。 - レジ袋をもらわない。レジ袋の素材をリサイクルでできているものにする。 - 肉や野菜を入れる小さい無料のビニール袋も有料にする。 - マイボトルを持ち歩く。給水機を設置し、利用するとポイントが付与されるようにする。 - エコラベルの意味を周りに伝える。 ○食品ロスの削減 - 飲食店で完食するとポイントが付与されるようにする。 - すべての飲食店で食べ残しを持ち帰ることができるように、ドギーバッグを配布することを条例にする。 ○再利用の促進 - 使い終わったものをごみにせず再利用して活用する。 - 粗大ごみになってしまうもの売る。 - 使わなくなったものを貸したり譲ったりすることができるアプリやサイトを作る。 - 近くに住んでいる人から不用品をもらって文化祭などで活用する。 ○分別とリサイクルの促進 - ごみの分別をしっかりする。ごみ箱やリサイクルボックスを増やす。 - ごみの捨て方をHPなどで周知する。分別の方法やどのように処理されるかを漫画やイラストで発信する（今は、細かいところまで理解できている人は少ない）。 - ごみの回収は有料であるが、プラスチックの回収を無料にすることで、分別を促し、リサイクルを進める。 - リサイクルすることでポイントが付与されるようにする。 - 分別を守らない人に罰金を科する。分別できているか監視する人をつける。 - ごみの分別をロボットで行う。 - 使い終わったものから使えるものを見つけてリサイクルする（オリンピックのメダルのように）。 - 生ごみ処理機を購入する。 - 自治体がイベントを開き、住民が仲良くなることで地域の活力が上がり、ごみを出すのが難しい人なども含めて助け合うことができる。 ○街中のごみの削減 - ごみのポイ捨てをやめる。 - ごみ拾いのボランティアに参加する。スポーツ選手や有名人と一緒に掃除をして街をきれいにする。街をきれいにしてくれた人たちには、スポーツ観戦のチケットを半額にするなどの特典を付ける。街も、住む人も、選手や有名人もお互いがWin-Win-Winの関係になる。

未来創造ワークショップ

30年後（2050年）に実現したい 多摩市の環境・社会のイメージ	私たちが行うべき取組の内容、 取組の広げ方
生物多様性 • みどりを豊かにする。 • 公園の自然を守り、公園の数を増やす。 • 大きい公園をつくる（今は、小さい公園が点々とあるが、手入れがされておらず、あまり人が来ない）。 • 公園に光を入れる（今は、木がたくさんあり薄暗い）。 • 自然農法で野菜を生産し、ブランド化する。	○みどりの保全・創出 • 生物多様性を守るため、みどりを残す。 • 森林を増やすために、今のうちから種（苗木）を植える。 • 大規模な森林を作る。 • 募金をする。 ○生物多様性に関する情報の発信 • 公園などに生物の説明の表示をする。 • 生物多様性を知るために、講習会や講演会などを行う。 • 学校の授業で生物多様性について教える。 • 学校や学校外の活動の中で、地域の生物や環境について学ぶ。 • 学校や多摩市で植物の種を配り、自分たちで育てる。それによって、生物や生物多様性のありがたみを理解し、もっと興味を持つことに繋がる。 ○生物多様性に配慮した消費行動 • エコラベルの意味を周りに伝える。 • 間伐材を利用する。 ○動植物の保護 • 多摩市で動植物を守るような条例を作る。

未来創造ワークショップ

	30年後（2050年）に実現したい 多摩市の環境・社会のイメージ	私たちが行うべき取組の内容、 取組の広げ方
全 般		○啓発 ・若い人たちにはSNSで発信する。高齢者には市内のアナウンスで発信する。 ・動画配信サービスに広告を入れる。 ・テレビ番組やクイズ番組、映画、ドラマ、アニメなどで発信する。 ・電車やバスの中にポスターを貼る。 ・学校に貼る環境啓発ポスターを自分たちで作って発信する。 ・企業とコラボして発信する。 ・大人がSDGsなどに取り組むために、儲け話をセットにして働きかける（大人は儲け話がないと動かない）。 ・企業には、多摩市などがプレゼンに行って伝える。 ・スポーツ選手などを巻き込んでSDGsなどを宣伝する。 ・小中高校生など、一番行動力のある学生に対して発信する。公園などでの参加型のイベント、ゲーム形式の小学生向けのイベントを行う。夏休みの宿題として生物や環境について学ばせる。 ・「〇〇初」という話題作りをして進める。 ○ボランティア活動の促進 ・ボランティアに参加した人にクーポンなどを配る（主婦などが参加してくれる）。 ・ボランティアをポイント制にする。 ・ボランティアのコンテストを開いて、景品として環境に関するグッズをあげる。 ・アイドルの力を借りてボランティア活動を促進する。 ・学校でボランティアに全員年1回は参加させる。

未来創造ワークショップ

＜大人へのメッセージ＞

- 今社会を回しているのは大人なので、地球温暖化の現状などを大人に知ってほしい。子どもがあこがれる様な行動を意識してほしい。今の子どもが大人になった時にもつながっていくと思う。
- 大人は、子どものいいところや、子どもしか考えられないことを生かしていないと思う。そういうことを知ってもらうことで、社会全体が良くなっていくと思う。
- 大人に環境問題の現状などを知ってもらい、これ以上地球を荒らさないでほしい。大人より子どもの方が今後長く地球に住み続ける。自分たちが荒らしたものの後始末はしてほしい。
- 現実を甘く見ている大人が多い。どうすれば現状が良くない事を認識してもらえるか考えてもらいたい。一人の老人からの意見が、その他の大多数の意見より優先されることがあってはならない。



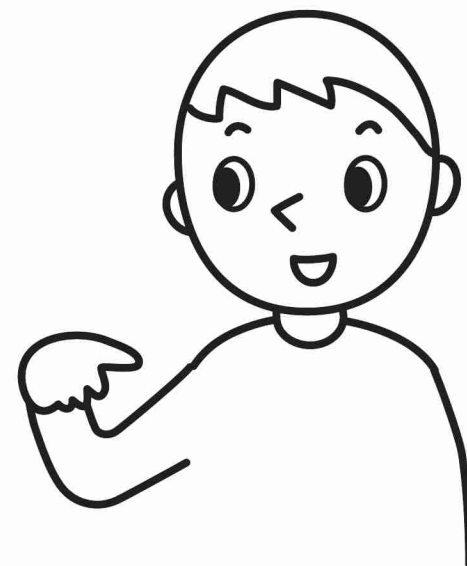
グループ ワーク

気候変動対策が進んだ先の、
多摩市を考えよう

自己紹介

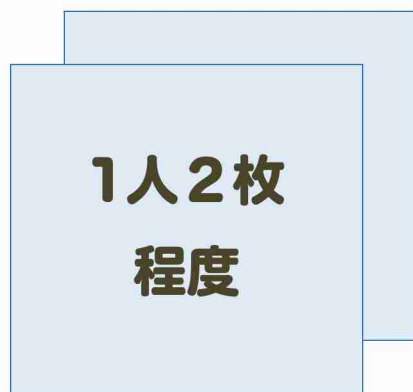
1人ずつ、自己紹介しよう

- お名前
- お住まいのエリア
- その他：
 - 参加しようと思ったきっかけや理由
 - どんな話をしたいか
 - どんなことを期待しているかなど



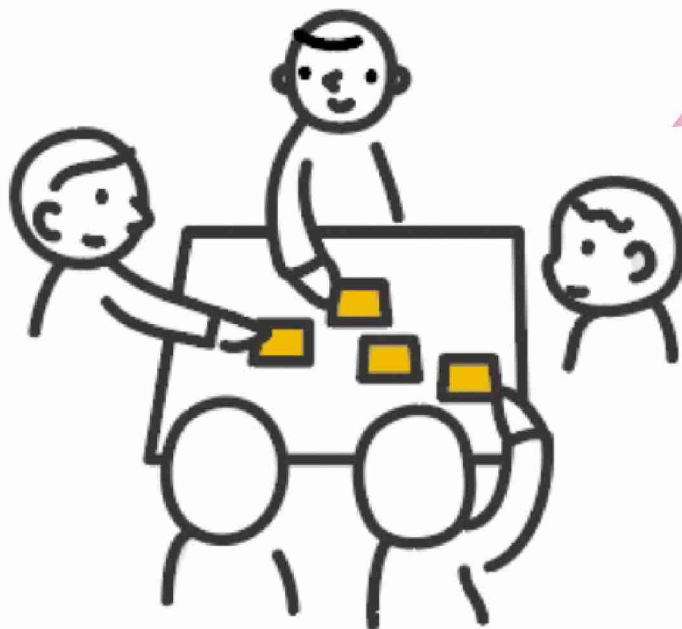
意見を付箋に書き出す

気候変動対策が進んだ先の、
30年後の多摩市の
環境・社会のイメージは？



意見を共有する

付箋に書いた内容について、一人ずつ共有していこう。

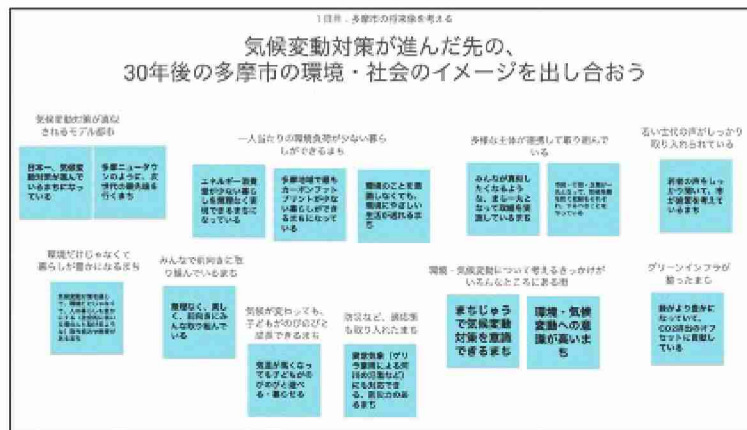
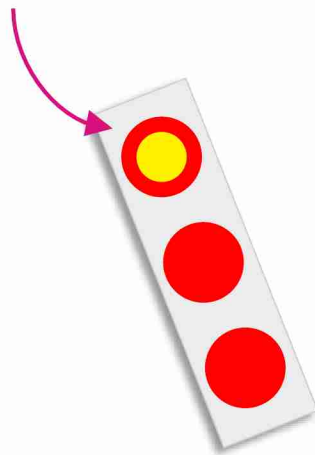


ファシリテーター
が模造紙に
整理していきます

シール投票 (時間があれば)

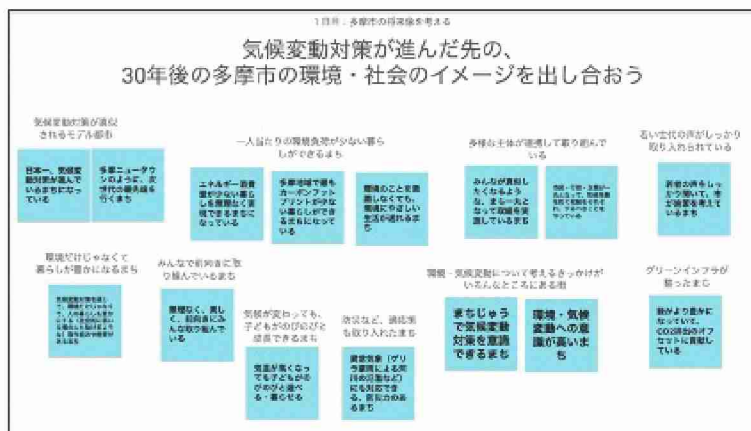
実現したらいいなと思う、多摩市のまちの
将来像について、投票しよう。

特に実現できたら
いいな！
と感じたもの

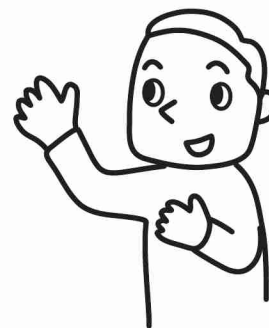


各グループの成果の共有

各グループで取りまとめたグループワークの成果を発表しよう



私たちの
グループでは・・・





次回の ご案内

第2回

脱炭素に向けて：生活編 身近な生活の中でできる、 取組や工夫を考えよう

5月27日（土） 13:30～17:15

本庁舎3階 301・302会議室

＊本日と会場が異なります